

免税販売管理システム

A P I 仕様書

~~2019~~2021 年 ~~5~~2 月

改訂履歴

<u>項番</u>	<u>日付</u>	<u>変更内容</u>	<u>変更理由</u>
<u>1</u>	<u>2019/ 5 /30</u>	<u>新規作成</u>	
<u>2</u>	<u>2021/ 2 /16</u>	<u>「自動販売機型輸出物品販売場」への対応に係る修正</u>	<u>令和 2 年度税制改正において、免税販売手続きを実施する機能を有し、一定の基準を満たす自動販売機のみを設置する販売場として、自動販売機型輸出物品販売場が新たに創設された。</u>

【目次】

1	概要	1
1. 1	はじめに	1
1. 2	購入記録情報を提供する方法	1
1. 3	イメージ図	1
1. 4	フロー図	2
2	クライアント証明書	2
2. 1	クライアント証明書の取得	2
2. 2	留意事項	3
3	通信回線	3
4	購入記録情報 API	3
4. 1	HTTP リクエスト	3
4. 1. 1	基本的事項	4
4. 1. 2	インターフェース定義	4
4. 1. 3	留意事項	5
4. 1. 4	イメージ	7
4. 2	HTTP レスポンス	7
4. 2. 1	基本的事項	7
4. 2. 2	インターフェース定義	7
4. 2. 3	チェック	8
4. 2. 4	受信結果通知	8
4. 2. 5	留意事項	9
4. 2. 6	イメージ	10
5	使用可能な文字コード	10



1 概要

1. 1 はじめに

本書は、~~平成30年度税制改正後の~~消費税法施行令第18条第6項若しくは同令第18条の4第1項又は租税特別措置法施行令第46条の8の2第4項若しくは同条第10項に基づき、市中輸出物品販売場を経営する事業者、輸出酒類販売場を経営する酒類製造者又は承認送信事業者（以下「免税店事業者等」といいます。）が、免税販売手続の際に国税庁長官へ購入記録情報又は酒類購入記録情報（以下「購入記録情報」といいます。）を提供する方法について説明するものです。

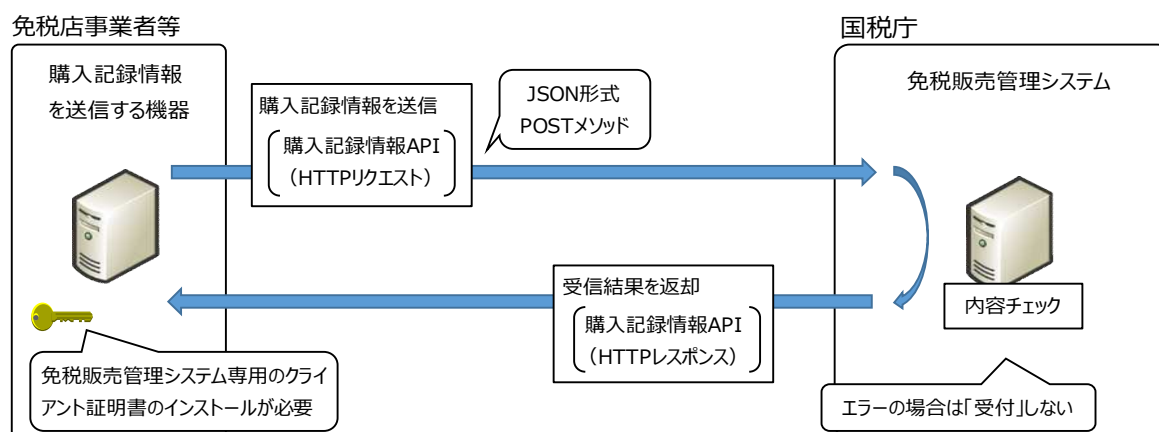
1. 2 購入記録情報を提供する方法

国税庁が運用する「免税販売管理システム」に対して、免税店事業者等は免税販売手続の都度、本書で説明するAPIの仕様に基づき、購入記録情報を送信する必要があります。

なお、「免税販売管理システム」は、購入記録情報を24時間・365日受信します。

1. 3 イメージ図

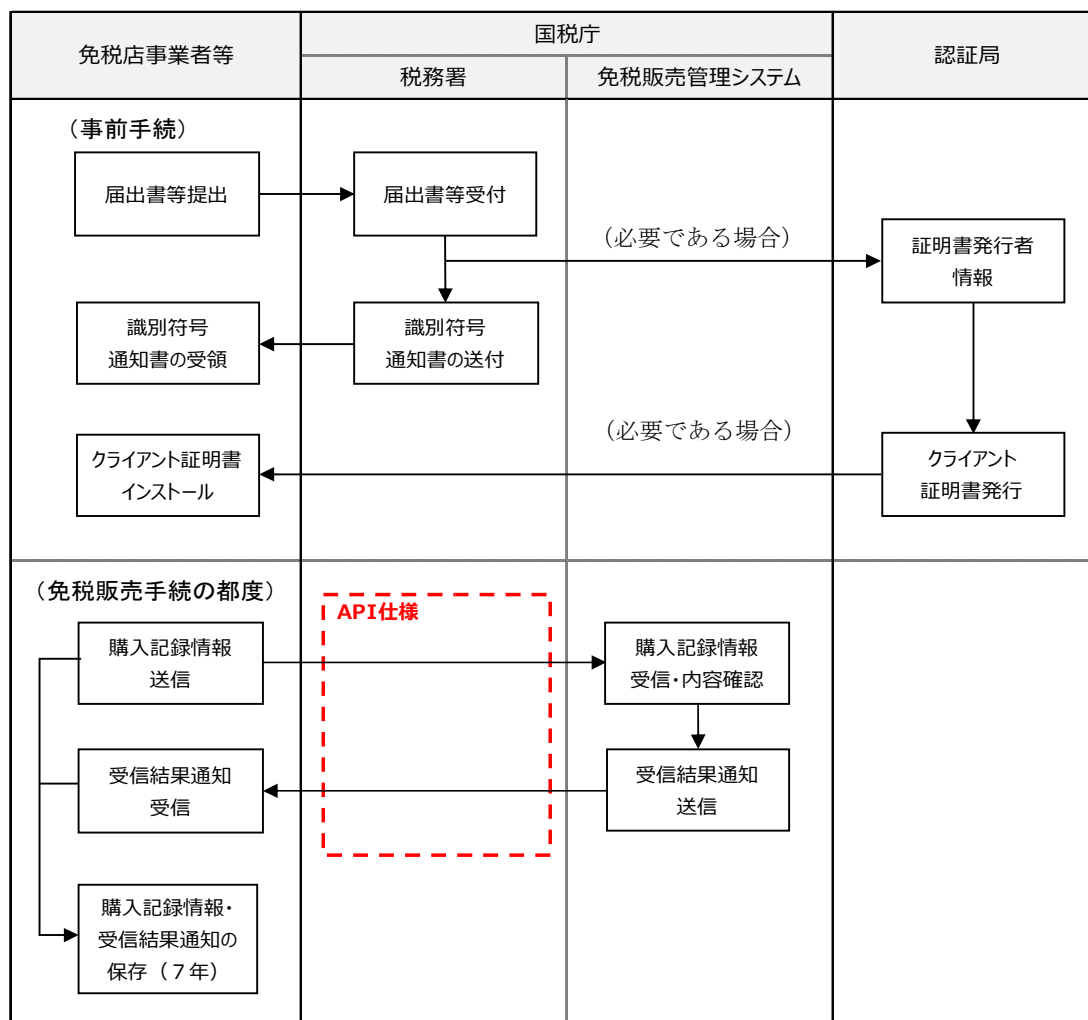
免税店事業者等が、国税庁へ購入記録情報を提供するイメージです。



1. 4 フロー図

免税店事業者等が国税庁へ購入記録情報を提供するために行う手続等のフローです。

事前手続については、大別すると、①購入記録情報の提供項目となる識別符号の通知を受けること及び②免税販売管理システム専用のクライアント証明書を取得し、送信機器にインストールすること（送信機器を有する場合のみ）の2点がありますが、~~これらの事前手続に係る届出書等の受付は、令和元年10月1日に開始します。~~



2 クライアント証明書

2. 1 クライアント証明書の取得

免税販売管理システムでは、免税店事業者等から購入記録情報を受信する際に、免税販売管理システム専用のクライアント証明書が免税店事業者等の送信機器にインストールされているか否かの認証を行います。

この認証ができない場合、免税店事業者等は免税販売管理システムに購入記録情報を送信することができません。（消費税法施行令第18条第7項、租税特別措置法施行令第46条の8の2第5項）

免税店事業者等は、事前にクライアント証明書の**交付発行**を受け、サーバ等の送信機器にインストールする必要があります。クライアント証明書の**交付発行**手続については、~~決定次第(令和元年9月頃を予定)~~国税庁ホームページに公表しますでご確認ください。

2. 2 留意事項

クライアント証明書は有効期限（約 3 年）が設定されています。有効期限を過ぎると、購入記録情報を免税販売管理システムに送信することができなくなりますので、有効期限経過前に確実にクライアント証明書を更新する必要があります。

また、クライアント証明書は免税販売管理システムへのアクセス時の認証で利用するため、交付を受けたクライアント証明書は、免税店事業者等の責任において適切に管理する必要があります。

3 通信回線

免税販売管理システムに購入記録情報を送信するための通信回線は、インターネット回線によるほか、国税庁が用意した IP-VPN 回線によることもできます。

IP-VPN 回線の利用に関する手続については、国税庁ホームページに別途掲載する資料（掲載時期未定）で確認することができますでご確認ください。

なお、IP-VPN 回線を利用する場合、国税庁が契約した IP-VPN 回線業者との契約及び費用負担が生じます。

4 購入記録情報 API

免税販売管理システムへ購入記録情報を送信する際のインターフェース定義等及び免税販売管理システムから受信結果を返却する際のインターフェース定義等を説明します。

なお、インターフェース定義等は、送信する購入記録情報の「手続委託型区分」及び「販売場区分」に応じて、別紙 1－1 から別紙 6－1 又は別紙 1－2 から別紙 6－2 を使用します。

(1) 別紙 1－1 から別紙 6－1

一般型輸出物品販売場及び手続委託型輸出物品販売場の購入記録情報の送信にのみ対応したインターフェース定義等。

具体的には、別紙 1－1 「購入記録情報インターフェース」の「手続委託型区分」に「0：一般型輸出物品販売場」又は「1：手続委託型輸出物品販売場」を設定する場合（設定する区分における臨時販売場を含む。）にのみ使用できます。

(2) 別紙 1－2 から別紙 6－2

自動販売機型輸出物品販売場を含む全ての購入記録情報の送信に対応したインターフェース定義等。

具体的には、別紙 1－2 「購入記録情報インターフェース」の「販売場区分」に「0：一般型輸出物品販売場」、「1：手続委託型輸出物品販売場」及び「2：自動販売機型輸出物品販売場」を設定する場合（設定する区分における臨時販売場を含む。）に使用できます。

4. 1 HTTP リクエスト

免税販売管理システムへ購入記録情報を送信する際のインターフェース定義等を説明します。

4. 1. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	送信（免税店事業者等→国税庁）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上
実装方式	REST API
リクエスト URL (別紙 1-1 のインターフェース)	https://api.menzei.nta.go.jp/v1/purchaseRecord/reception (※)
リクエスト URL (別紙 1-2 のインターフェース)	https://api.menzei.nta.go.jp/v2/purchaseRecord/reception (※)
HTTP メソッド	POST
ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode
エンコーディング	UTF-8

(※) IP-VPN 回線を利用する場合のリクエスト URL については、国税庁ホームページに別途掲載する資料（掲載時期未定している資料（免税販売管理システム用 IP-VPN 回線利用規約））で確認することができます。

4. 1. 2 インターフェース定義

~~別紙 1 「購入記録情報インターフェース」に示します。~~は、別紙 1 - 1 又は別紙 1 - 2 を使用します。 項目の説明は以下のとおり。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ
項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称
項目 ID 略称	<ul style="list-style-type: none"> データ項目の略称 別紙 2 - 1 <u>2 - 1 又は別紙 2 - 2</u> 「受信結果通知インターフェース」の項目「処理結果コード」でエラー箇所を示すための名称
データ型	<ul style="list-style-type: none"> データ項目の型。 データ型「日本語」は「5 使用可能な文字コード」の文字を設定
桁数	データ項目の桁数又は文字数

byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必須項目、条件付き必須項目、任意項目の区分け ・ 必須項目は「○」、条件付き必須項目は「△」、任意項目は「 」 (空白) と、それぞれ表示
その他の必須条件	データ項目に対するその他のチェック内容
説明	データ項目に対する説明

4. 1. 3 留意事項

(1) 免税販売手続の都度送信

購入記録情報は、免税販売手続の都度、即時に送信する必要があります。例えば、購入記録情報を免税販売手続の都度、即時に送信せずに、バッチ処理等により複数データを一括して送信した場合は、免税販売管理システムで正常に受け付けたとしても、購入記録情報を免税販売手続の都度、即時に送信したこととはなりませんので、免税販売の要件を満たしません。(消費税法施行令第 18 条第 6 項、租税特別措置法施行令第 46 条の 8 の 2 第 4 項)

なお、災害その他やむを得ない事情による事後送信については、4. 2. 5(2)を参照してください。

(2) 送信した購入記録情報の訂正

送信した購入記録情報の訂正を行う場合は、①当初の購入記録情報を取り消すためのデータを送信した上で、訂正後の購入記録情報を送信する方法(洗替処理)、②当初の購入記録情報と訂正後の購入記録情報の差分データを送信する方法(差分処理)、のいずれかが必要となります。

これらの取り消すためのデータについては、「数量」欄及び「販売価額」欄の情報等を－(マイナス)として設定します。このとき、「送信番号」欄を除き、その他の訂正がないデータ項目については、当初データと同一の内容を設定します。なお、購入記録情報 1 送信に含まれる個々の物品情報として「数量」及び「販売価額」が＋(プラス)のものと－(マイナス)のものが混在することは差し支えありません。

訂正データの送信イメージは、以下のとおりです。なお、通信の影響等で結果的に送信順が前後したとしても問題ありません。

(例) 単価 5000 円の商品 AZ を 4 個販売したデータを 1 個販売に訂正する場合

①洗替処理

送信順	分類	購入記録情報 (抜粋)				
		旅券番号	品名	数量	単価	販売価額
1	当初	A111	AZ	4	5000	20000
2	取消	A111	AZ	-4	5000	-20000
3	訂正後	A111	AZ	1	5000	5000

②差分処理

送信順	分類	購入記録情報（抜粋）				
		旅券番号	品名	数量	単価	販売価額
1	当初	A111	AZ	4	5000	20000
2	訂正	A111	AZ	-3	5000	-15000

(3) 物品情報の繰り返し回数

購入記録情報は1送信 50 品目までとし、1取引につき 51 品目以上の免税販売がある場合には、購入記録情報を分割して作成する必要があります。

この場合、「一般物品合計額」、「消耗品合計額」、「酒税免税対象販売合計額」及び「酒税免税対象酒類総本数」欄には、それぞれ1取引中の合計額及び総本数ではなく、1送信中の「販売価額」及び「(酒税) 本数」の合計額及び総本数を設定します。また、「酒税適用有無 (全体)」に' 1' (酒税の免税の適用あり) を設定するか否かの判断は、1取引中ではなく、分割した1送信中に「酒税適用有無 (物品)」に' 1' (酒税の免税の適用あり) が設定されているものがあるか否かで行う必要があります。

(4) 運送区分

1取引中に購入者へ引き渡す商品と海外直送商品が混在する場合（1取引につき「運送区分」が0（引渡し）と1（海外直送）が混在する場合）は、購入記録情報を分割して作成する必要があります。

なお、「販売場区分」が' 2'（自動販売機型輸出物品販売場）の場合、「運送区分」1（海外直送）を設定することはできません。

(5) 物品情報に対応した販売価額の設定

複数の物品を組み合わせて価格設定している商品を免税販売する場合の購入記録情報について個々の物品ごとに物品情報の設定を行うときは、個々の物品ごとに「品名」、「販売価額」等の各項目を設定する（販売価額を個々の物品ごとに按分して設定する）必要があります。

(6) 文字数の上限

「氏名」、「販売場名称」、「販売場所在地」、「事業者氏名名称」、「事業者納税地」、「伝票番号」、「運送事業者氏名名称」、「備考」、「品名」及び「単位」については、文字数の上限があります。文字数の上限を超える場合は、例えば、上限を超える部分を削除する、適宜の簡略表記（「株」等）を行うなどの方法により、文字数の上限以内になるように設定する必要があります。

4. 1. 4 イメージ

```
{
  "senderId": "123456789012345678901",
  "senderIdType": "0",
  ...(略)
  "details": [
    {
      "serial": "1",
      "goodsType": "1",
      "goodsName": "カメラ●●シリーズ黒 NTA-MENZEI001",
      ...(略)
    },
    ...(略)
    {
      "serial": "50",
      "goodsType": "2",
      "goodsName": "チョコレート「■■」ビタータイプ NTA-MENZEI601",
      ...(略)
    }
  ]
}
```

4. 2 HTTP レスポンス

免税販売管理システムから受信結果を返却する際のインターフェース定義等について説明します。

4. 2. 1 基本的事項

項目	内容等
通信方向	受信（国税庁→免税店事業者等）
通信プロトコル	HTTPS
SSL のバージョン	TLS1.2 以上
ヘッダー	Content-Type:Application/json; charset=utf-8
データ形式	JSON
文字セット	Unicode
エンコーディング	UTF-8
改行コード	LF (Line Feed)

4. 2. 2 インターフェース定義

別紙 [2-2-1](#) 又は [2-2](#) 「受信結果通知インターフェース」に示します。項目の説明は以下のとおり。

項目	説明
分類	データ項目に対するカテゴリ
項目名	データ項目の名称
項目 ID	データ項目に対する物理項目名であり、JSON 形式で設定する項目の名称

データ型	データ項目の型
桁数	データ項目の桁数又は文字数
byte 数	文字コードや論理データ型からバイト換算されたバイト数
必須区分	必須項目（必ず設定がある項目）の場合は「○」で表示
説明	データ項目に対する説明

4. 2. 3 チェック

免税販売管理システムでは、受信した購入記録情報に対して以下の単項目チェック、
 関連項目チェック及びワーニングチェックを行い、該当するエラーコード等がある場合
 には、その結果を「受信結果通知インターフェース」の「処理結果コード」にエラーコー
 ド等を設定して返却します。

(1) 単項目チェック

- イ データ型や桁数など、単一項目で完結するチェックを行います。
- ロ チェック内容は、別紙~~3-3-1~~及び別紙3-2「単項目チェックエラーコード」
 に示します。
- ハ 単項目チェックは、受信した購入記録情報の全項目に対して行い、全てのエラー
 コードを返却します。
- ニ データ型が「日本語」の項目は、バイト数のチェックに加えて、桁数のチェック
 も行います。

(2) 関連項目チェック

- イ 条件付きの必須条件など、複数項目の値からチェックを行います。
- ロ チェック内容は、別紙~~4-4-1~~及び別紙4-2「関連項目チェックエラーコード」
 に示します。
- ハ 関連項目チェックは、単項目チェックが全て正常だった場合に行います。
- ニ 関連項目チェックは、関連チェックエラーコードの先頭 10 桁の種類ごとに行いま
 す。購入記録情報に 2 種類以上の関連チェックエラーが内在していた場合、1 送信
 につき、エラーは 1 種類のみ返却します。(後続の関連項目チェックは行われません。)

(3) ワーニングチェック

- イ 免税販売の要件を満たしていない可能性が高いもののチェックを行います。
 例：「譲渡年月日」が「上陸年月日」から 184 日以上経過していることから、非居
 住者に該当しない可能性が高い。
- ロ チェック内容は、別紙~~5-5-1~~又は別紙5-2「ワーニングコード」に示します。
- ハ ワーニングチェックは、単項目チェック及び関連項目チェックが全て正常だった
 場合に行います。
- ニ ワーニングの場合であっても、購入記録情報は各項目に設定された内容で正常に
 受け付けていますので、訂正が必要なければ、ワーニングへの対応は不要です。(訂
 正を行う場合は、4. 1. 3 (2)に記載した対応を行う必要があります。)

4. 2. 4 受信結果通知

免税販売管理システムでは、受信した購入記録情報に対して所定のチェックを行い、

受信結果を返却します。購入記録情報の送信が正常に終了したか否かについては、HTTP ステータスコードで判定することができます。

HTTP ステータスコードは、別紙~~6-6-1~~ 6-6-1 及び別紙~~6-2~~ 6-2 「HTTP ステータスコード」に示します。

HTTP ステータスコード	判定
201	正常終了
470	異常終了（業務エラー）
上記以外	異常終了（システムエラー等）

(1) 正常終了

購入記録情報は、免税販売管理システムで正常に受け付けています。

(2) 異常終了（業務エラー）

購入記録情報は、免税販売管理システムで受け付けていません。

したがって、このままでは免税の適用を受けることができませんので、エラーとなった購入記録情報について必要な訂正を行った上で再度送信する必要があります。

なお、業務エラーは、例えば 21 桁で設定すべき「送信者識別符号」欄が 22 桁ある場合や必須項目である「氏名」欄が空白である場合など、API 仕様に従っていない場合に設定されます。

エラーの内容は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果コード」欄に設定されます。エラーコードの詳細は、別紙~~3-3-1~~ 3-3-1 又は別紙~~3-2~~ 3-2 「単項目チェックエラーコード」~~、並びに~~別紙~~4-4-1~~ 4-4-1 又は別紙~~4-2~~ 4-2 「相関項目チェックエラーコード」に示します。

(3) 異常終了（システムエラー等）

購入記録情報は、免税販売管理システムで受け付けていません。

したがって、このままでは免税の適用を受けることができませんので、原因を解明して再度送信する必要があります。エラーの原因は、HTTP ステータスコードで判定することができます。なお、この場合の受信結果通知は、「受信結果通知インターフェース」の「処理結果エラーコード」を含めて、各項目の設定はされませんので、エラーの原因は、上述のとおり HTTP ステータスコードのみにより判定します。

4. 2. 5 留意事項

(1) 受信結果通知の返却を確認することができない場合の対応

受信結果を返却するまでの所要時間は、おおむね数秒から十秒程度を想定しています。免税店事業者等で受信結果通知の返却を確認することができない場合は、購入記録情報の送信又は受信結果通知の返却のいずれかの通信等で何らかの障害が発生したものと考えられます。

この場合は、「送信者識別符号」欄及び「送信番号」欄に再送信前の「送信者識別符号」及び「送信番号」を、「備考」欄に再送信である旨の記載を設定し、購入記録情報を再度送信します。

なお、制限なく再送信を繰り返した場合、双方のシステムに負荷がかかりますので、例えば5回再送信しても受信結果通知の返却を確認できない場合は、再送信の間隔を空けるなどの対応が必要です。

送信イメージは、以下のとおりです。

分類	購入記録情報（抜粋）							
	送信番号	旅券番号	備考	品名	数量	単価	販売価額	
販売	001	A111		AZ	4	5000	20000	⇒受信結果なし
再送信	001	A111	再送信	AZ	4	5000	20000	⇒受信結果なし
再送信	001	A111	再送信	AZ	4	5000	20000	

(2) 災害その他やむを得ない事情による事後送信

上記(1)のほか、障害対応に時間を要する場合など、災害その他やむを得ない事情により購入記録情報を免税販売手続の都度、即時に送信することができなかった場合には、復旧後に速やかに送信する必要があります。（消費税法施行令第18条第8項、租税特別措置法施行令第46条の8の2第6項）

この場合の事後送信については、「備考」欄に、事後送信である旨及びその要因等を設定して送信します。

なお、大規模な災害等の場合、国税庁ホームページで送信時期・送信方法を連絡することがあります。

4. 2. 6 イメージ

```
{
  "senderId": "123456789012345678901",
  "senderIdType": "0",
  "sendNo": "20201231235959001",
  "proceduresId": "A",
  "version": "1",
  "checkDate": "20210101000059",
  "result": "OK",
  "receiveNo": "10123456789012345678",
  "details": []
}
```

5 使用可能な文字コード

免税販売管理システムが使用する文字コードは、JIS X 0221 を UTF8 で符号化したもののうち、JIS X 0201 と互換性のあるもの（基本ラテン（ただし、文字タブ（0009）、改行（000A）及び復帰（000D）以外の制御文字（0000～001F、007F）を除く））及び「平仮名」「片仮名」「CJK 統合漢字」「CJK 互換漢字」「CJK 用の記号及び分音記号」「半角形・全角形」（ただし、半角カナ（FF66～FF9F）を除く）「ラテン-1 補助（ただし、制御文字（0080～009F）を除く）」「矢印」「一般句読点」「罫線素片」「幾何学模様」「基本ギリシャ」「キリール」「数学記号」「数字の形」「囲み英数字」「囲み CJK 文字／月」「CJK 互換文字」とします。

文字種	文字コード
基本ラテン	#x0009、#x000A、#x000D、#x0020～#x007E
平仮名	#x3040～#x309F
片仮名	#x30A0～#x30FF
CJK 統合漢字	#x4E00～#x9FFF
CJK 互換漢字	#xF900～#xFAFF
CJK 用の記号及び文音記号	#x3000～#x303F
半角形・全角形(半角カナを除く)	#xFF00～#xFF65、#xFFA0～#xFFEF
ラテン-1 補助	#x00A0～#x00FF
矢印	#x2190～#x21FF
一般句読点	#x2000～#x206F
罫線素片	#x2500～#x257F
幾何学模様	#x25A0～#x25FF
基本ギリシャ	#x0370～#x03FF
キリール	#x0400～#x04FF
数学記号	#x2200～#x22FF
数字の形	#x2150～#x218F
囲み英数字	#x2460～#x24FF
囲み CJK 文字／月	#x3200～#x32FF
CJK 互換文字	#x3300～#x33FF

別紙1-1 購入記録情報インターフェース(ver1)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型(※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
1	ヘッダ情報	送信者識別符号	senderId	SEID	半角数字	21	21	○	・21桁であること。	・購入記録情報を送信する者の税務署長から通知を受けた21桁の識別符号を設定する。 ・複数の輸出物品販売場を営業者の事業者の場合その他複数の識別符号の通知を受けている場合、いずれの輸出物品販売場識別符号を用いても差し支えない。 ・購入記録情報を送信した際に、受信結果通知の返却を確認することができない場合は、再送信が必要となるが、この場合の再送信する購入記録情報の送信者識別符号は、受信結果通知の返却を確認することができなかった購入記録情報の送信者識別符号から変更しない。
2		送信者識別符号区分	senderIdType	IDTP	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。	・項目「送信者識別符号」で設定した識別符号の種類を、次から選択して設定する。 0=輸出物品販売場を営業者の事業者、臨時販売場を設置する事業者 1=承認送信事業者
3		送信番号	sendNo	SENO	半角数字	17	17	○	・17桁であること。 ・yyyymmddhhMMssXXX (yyyymmdd=年 月 日、hhMMss=時 分 秒、XXX=半角数字) であること。	・購入記録情報を送信する時刻を設定する。 ・項目「送信者識別符号」と項目「送信番号」で送信者が購入記録情報を特定できるよう、送信時刻に任意の「通番」を結合して次のように設定する。 yyyymmddhhMMssXXX (yyyymmdd=送信年月日、hhMMss=送信時分秒、XXX=通番) ・購入記録情報を送信した際に、受信結果通知の返却を確認することができない場合は、再送信が必要となるが、この場合の再送信する購入記録情報の送信番号は、受信結果通知の返却を確認することができなかった購入記録情報の送信番号から変更しない。
4		手続ID	proceduresId	PRID	半角英数	1	1	○	・Aであること。	・手続IDを設定する。 A=購入記録情報
5		バージョン	version	VERS	半角数字	3	3	○	・1であること。	・手続IDにおけるバージョン「1」を設定する。
6	旅券等情報	氏名	name	NAME	半角英大文字記号(*)	39	39	○		・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された氏名を設定する。 ・旅券(パスポート)の場合は、Surname(姓)＋半角スペース＋Given names(名)の順で旅券等に記載のとおり設定する。上陸許可書による場合の入力順についても同様。 (例) 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーン(パスポートリーダー等でOCR認識を行う部分)に、「EDWARDS<<AMY<<GRACE」と表記されている場合は、「EDWARDS AMY GRACE」となる。 ・データ型の記号については「半角スペース」のみ設定可能。その他の記号(「」」「」など)は記載がないものとして取り扱う。
7		国籍	nation	NATN	半角英大文字	3	3	○	・3桁であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された国籍を次のとおり設定する。 ① 旅券(パスポート)又は船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷があるもの)である場合 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーンの2行目に表示されている国籍情報を設定する。ただし、国籍情報が3桁以外の場合又は旅券(パスポート)にマシン・リーダブル・ゾーンがない場合は、ISO3166-1 alpha-3に従った国コードを設定する。 ② 上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある船舶観光上陸許可書を除く。)である場合 上陸許可書に表示されている国籍に対応するISO3166-1 alpha-3に従った国コードを設定する。 (※) 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーンの2行目に表示されている国籍情報は、ICAO(国際民間航空機関) document9303「Machine Readable Travel Documents」に示されている。 (例) ・マシン・リーダブル・ゾーンの国籍情報に「D<<<」(ドイツ)と表示されている場合は、「DEU」を設定する。 ・香港からの旅行者等が有する旅券等で国籍情報に「CHN」と表示されている場合は、「CHN」を設定する(「HKG」ではない)。
8		生年月日	birth	BIRT	半角数字	8	8	○	・yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された生年月日を設定する。
9		在留資格	status	STAT	半角数字	2	2	○	・2桁であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等で確認した留資格等を、コード表「在留資格コード」から選択して設定する。
10		上陸年月日	landDate	LNDD	半角数字	8	8	○	・yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等で確認した上陸年月日を設定する。
11		旅券等種類	docType	DCTP	半角数字	1	1	○	・1から6までのいずれかであること。	・非居住者から提示を受けた旅券等の種類を、次から選択して設定する。 1=旅券(パスポート) 2=船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合) 3=船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合) 4=乗員上陸許可書 5=緊急上陸許可書 6=遭難による上陸許可書
12		旅券番号	passportNo	PPNO	半角英大文字数字	11	11	△	・項目「旅券等種類」の値が1又は2の場合に必須。 ・設定する場合は、7桁以上であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された番号を設定する。 ・項目「旅券等種類」の値が3から6までのいずれかの場合は必須ではなく任意で設定する。 ・旅券(パスポート)に記載された番号が7桁に満たない場合は先頭を0で埋めて7桁とする。旅券(パスポート)に記載された番号が7桁以上の場合は先頭を0で埋めず、記載された桁数のまま設定する。
13		許可書番号	landingPermitNo	LPNO	半角英数	15	15	△	・項目「旅券等種類」の値が3から6までのいずれかの場合に必須。	・非居住者から提示を受けた上陸許可書(旅券(パスポート)の写しが添付又は裏面印刷された船舶観光上陸許可書を除く。)に記載されている許可書番号(漢字、記号及びスペースを除いた半角英数字)を設定する。 (例)「福 123 12345」の場合「12312345」。「福 長 20-Abc1234567」の場合「20Abc1234567」 ・項目「旅券等種類」の値が1又は2の場合は必須ではなく任意で設定する。
14		出国区分	portType	PRTP	半角数字	1	1		・設定する場合は、0から4までのいずれかであること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国地の種類を、次から選択して設定する。 0=未定 1=空港 2=港 3=その他 4=不明
15		出国予定日	departDate	DPDT	半角数字	8	8		・設定する場合は、yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定日を設定する。
16		出国予定地	port	PORT	半角英大文字	3	3		・設定する場合は、3桁であること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定地(空港・港湾)について、コード表「出国地コード」から選択して設定する。コード表に該当するコードが存在しない場合は、設定しない。
17		出国予定便	vehicle	VHCL	半角英数	7	7			・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定便について、その①又は②の区分に応じて、それぞれ設定する。 ① 項目「出国区分」の値が1の場合、航空券等に記載されている便名(例: AB1234)を設定する。 ② 項目「出国区分」の値が2の場合、コード表「船コード」から選択して設定する。コード表に該当するコードが存在しない場合は設定しない。

分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型(※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
販売場情報	販売場識別符号	shopId	SHID	半角数字	21	21	○	・21桁であること。	・非居住者に対して免税販売を行う輸出物品販売場に付された輸出物品販売場識別符号(臨時販売場)については、臨時販売場を設置する事業者に対して通知された臨時販売場共通用の識別符号を設定する。
	手続委託型区分	shopType	SHTP	半角数字	1	1		・設定する場合は、0又は1であること。	・項目「販売場識別符号」で設定した輸出物品販売場の区分を、次から選択して設定する。 0=一般型輸出物品販売場(委託なし) 1=手続委託型輸出物品販売場(承認免税手続業者に委託) ・臨時販売場については、臨時販売場設置届出書により届け出た臨時販売場の区分に応じて設定する。
	手続委託型合算区分	sumOrNot	SUON	半角数字	1	1		・設定する場合は、0又は1であること。	・項目「手続委託型区分」の値が1の場合、免税手続カウンターにおいて、複数の手続委託型輸出物品販売場(手続委託型輸出物品販売場とみなされる臨時販売場を含む。)で販売した商品について合計して免税下限額以上であるかを判定したか否かを、次から選択して設定する。 0=合計判定なし 1=合計判定あり
	販売場名称	shopName	SHNM	日本語	70	210	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場又は臨時販売場の名称を設定する。 (例)国税商店霞ヶ関3丁目店 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
販売場所在地	販売場所在地	shopPlace	SHPL	日本語	70	210	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場又は臨時販売場の所在地を設定する。 (例)東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 5階 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
	事業者氏名名称	bizName	BZNM	日本語	50	150	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場を営営する事業者又は臨時販売場を設置する事業者の氏名又は名称を設定する。 (例)個人の場合:国税太郎、法人の場合:(株)国税商事 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
	事業者納税地	bizPlace	BZPL	日本語	50	150	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場を営営する事業者又は臨時販売場を設置する事業者の消費税法における納税地を設定する。 (例)東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 5階 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
	譲渡年月日	sellDate	SLDT	半角数字	8	8	○	・yyyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者に対して免税販売を行った年月日を設定する。 ・受信チェックにおいて、項目「上陸年月日」を日付形式に変換し、184日を足した日を、当項目の日が越える場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0001-SLDT-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
販売場情報	譲渡時刻	sellTime	TIME	半角数字	4	4		・設定する場合は、hhMM(時分)であること。	・非居住者に対して免税販売を行った時刻を設定する。 ・決済時刻等の販売時刻に近接するもので差し支えない。
	伝票番号	receiptNo	RCNO	半角英数記号(*)	10	10			・レシートに表示した番号等、輸出物品販売場と免税対象物品を購入した非居住者とか取引の事実を共有した書類等に付された識別番号等を設定する。 ・データ型の記号のうち設定可能なものは、「 」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「(」、「)、」、「*」、「+」、「-」、「/」、「」、 「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「」、 「」」、「、」、「」、 「 」、「」、 「 」、「」、 「 」、「」、 「 」、「」 、「半角スペース」である。
	運送区分	transOrNot	TRON	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。	・非居住者と国際第二種貨物利用運送事業者との間において免税対象物品の輸出に係る運送契約を締結して引渡しを行ったか否か、次から選択して設定する。 0=行っていない(通常の引渡し) 1=行った(販売時に海外へ直送)
	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	日本語	30	90	△	・項目「運送区分」の値が1の場合に必須。 ・項目「運送区分」の値が0の場合、設定がないこと。	・項目「運送区分」の値が1の場合、非居住者から提出を受けた運送契約書の写しに記載されている国際第二種貨物利用運送事業者の氏名又は名称を設定する。
販売場情報	一般物品合計額	generalTotal	GENE	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が1である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し分合計した値の±100以内の値であること。	・一般物品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・一般物品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0002-GENE-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
	消耗品合計額	consumTotal	CONS	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が2である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し分合計した値の±100以内の値であること。	・消耗品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・消耗品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0003-CONS-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。) ・受信チェックにおいて、当項目が500001以上の値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0004-CONS-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
販売場情報	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON	半角数字	1	1	○	・項目「酒税適用有無(物品)」の値を、繰り返し分合計した値が0の場合は0であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値を、繰り返し分合計した値が1以上の場合は1であること。	・酒税の免税の適用がある酒類の販売が含まれているか否かを、「その他の必須条件」の条件に従い、次から選択して設定する。 0=酒税の免税の適用なし 1=酒税の免税の適用あり
	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	半角数字	9	10	△	・項目「酒税適用有無(全体)」の値が1の場合、次の①及び②の条件を両方満たすこと。 ①-999999999から999999999までの整数であること。 ②項目「酒税適用有無(物品)」の値が1である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し分合計した値の±100以内の値であること。 ・項目「酒税適用有無(全体)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある酒類の販売価額の合計額を、「その他の必須条件」の条件に従い設定する。 ・単位は円。

別紙1-1 購入記録情報インターフェース(ver1)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型 (※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
34		酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	半角数字	6	7	△	・項目「酒税適用有無(全体)」の値が1の場合、次の①及び②の条件を両方満たすこと。 ①-999999から999999までの整数であること。 ②項目「酒税適用有無(物品)」の値が1である物品情報の項目「(酒税)本数」の値を、繰り返し分合計した値と同じ値であること。 ・項目「酒税適用有無(全体)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある酒類の総本数を、「その他の必須条件」の条件に従い設定する。 ・単位は本。
35	販売場情報	備考	note	NOTE	日本語	30	90			・項目「在留資格」において「99」=その他を設定した場合に、具体的な在留資格名等を設定する。 ・受信結果通知の返却がない場合に行う再送信であるときは、再送信である旨の記載を設定する。 ・災害その他やむを得ない事情により、免税販売手続の都度、即時に購入記録情報を送信できなかった場合の消費税法等の規定に基づく事後送信であるときは、事後送信である旨及び事後送信となった要因を設定する。 (例) 事後送信(地震による停電のため) ・その他特に留意する情報があれば設定する。なお、設定する事項が複数あった場合、その設定の順番及び設定方法は問わない。
36		物品明細	details	DETA					・繰り返しの上限が50回であること。	・1回の販売により2以上の免税対象物品を販売した場合、項番37から51までの項目を、複数回繰り返し設定する。 ・繰り返しの上限は50回。51回以上繰り返す場合は、購入記録情報を分割する。(分割したことを示す情報の設定は不要。) ・物品情報の中でマイナスでの設定を可能としている販売価額等の各項目について、繰り返し情報の中でプラスとマイナスが混在することは差し支えない。 ・複数の物品を組み合わせて価格設定等を行っている場合の購入記録情報について個々の物品ごとに物品情報を設定するときは、項番37から51までの各項目について個々の物品ごとに設定する(販売価額を個々の物品ごとに按分して設定する)。
37		物品一連番号	serial	SERI	半角数字	2	2	○	・1から50までの整数であること。 ・JSONデータを先頭から読み取ったときに、1から始まり、繰り返し1回ごとに1が加算されていること。 ・値が重複しないこと。	・分類「物品情報」内の通し番号を設定する。 ・繰り返しの中で1から順にカウントアップする。 ・最大値50の整数。 ・伝票、レシート等と同じ並び順となるように設定する。
38		物品区分	goodsType	GOTP	半角数字	1	1	○	・1又は2であること	・免税対象物品が一般物品に該当するか、消耗品に該当するかを、次から選択する。 1=一般物品 2=消耗品 ・一般物品と消耗品とを合算して免税適用を判定した場合に消耗品とみなされる一般物品については、「2」=消耗品を設定する。
39		品名	goodsName	GONM	日本語	50	150	○		・商品の名称・型番・仕様・バージョン等、免税対象物品を特定する情報を設定する。 ・一般に商品が特定できる程度に具体的な品名を記載する。そのうえで、桁数の範囲内で事業者が独自に設定した商品コード等の情報を、商品名の後に追加することは差し支えない。 (例)カメラ●●シリーズ黒、チョコレート「■■」ビタータイプ区分菓子類A10
40		JANコード	janCode	JNCD	半角数字	13	13			・JANコードを設定する。
41		数量	number	NUMB	半角数字	4	5	○	・-9999から9999までの整数であること。	・免税対象物品の販売数量を設定する。 ・返品、取消等の場合はマイナスで入力する。
42		単位	unit	UNIT	日本語	5	15			・項目「数量」に対応する単位を設定する。 (例)個、通、つ、箱、kg
43	物品情報 (繰り返し項目)	単価	unitPrice	UNPR	半角数字	9	10		・設定する場合は、-999999999から999999999までの整数であること	・免税対象物品の販売数量1単位当たりの販売価額を、円単位で設定する。 ・実際に免税販売した単価(免税価格)を設定する。 ・値引等の場合は、値引等を行った後の単価で設定するものとするが、1件の購入記録情報の中で値引等の対象がどの物品であるかを特定できることを前提として、値引等前の単価と値引等単価(マイナス)の双方を設定しても差し支えない(この場合は、それぞれ物品情報(繰り返し情報)1回としてカウント。)
44		販売価額	price	SLPR	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること	・免税対象物品の販売価額を設定する。通常の場合、数量に単価を乗じた値となる。 ・実際に免税販売した販売価額(免税価額)を設定する。 ・返品、取消、値引等の場合は、マイナスで入力する。 ・単位は円。
45		消費税軽減税率対象区分	reduced	REDU	半角数字	1	1	○	・0又は1であること	・免税対象物品が消費税軽減税率対象資産に該当するか否か(仮にその商品を居住者に販売したならば、消費税軽減税率適用対象となるか否か)、次から選択して設定する。 0=軽減税率対象外(10%) 1=軽減税率対象(8%)
46		酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN	半角数字	1	1	○	・0又は1であること	・酒税の免税の適用があるか否か、次から選択して設定する。 0=酒税の免税の適用なし(消費税のみ免税) 1=酒税の免税の適用あり(消費税及び酒税が免税)
47		(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	半角数字	3	3	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合に必須。 ・設定する場合は、3桁であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の品目分類について、コード表「酒品目コード」から該当するものを選択して設定する。
48		(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	半角数字	2	2		・設定する場合は、1から99までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類のアルコール分を設定する。 ・単位は度で、小数点以下を切り捨てる。
49		(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	半角数字	7	7	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、1から999999999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、本来課せられる酒税の税率を設定する。 ・単位は円/kg(円/キログラム)。 ・租税特別措置法等の規定による軽減対象である場合、軽減後の税率を設定する。

別紙1-1 購入記録情報インターフェース(ver1)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型 (※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
50		(酒税)容器容量	lqCapacity	LQCP	半角数字	7	7	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、1から9999999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の容器の容量を設定する。 ・単位はml(ミリリットル)。 ・粉末酒の場合は酒税に係る法令に基づきg(グラム)をml(ミリリットル)に変換する。
51		(酒税)本数	lqNumber	LQNU	半角数字	4	5	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、-9999から9999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の容器の本数を設定する。 ・単位は本。 ・返品、取消等の場合は、マイナスで入力する。

※ データ型に関わらず、全ての項目において値の前後に「」を設定し(この場合の先頭と末尾の「」は桁数にカウントしない。)、先頭及び末尾以外の場所で「」を使用することはできない。

別紙2-1_受信結果通知インターフェース(ver1)

項番	分類	項目名	項目ID	データ型	桁数	byte数	必須区分	説明
1	ヘッダ情報	送信者識別符号	senderId	半角数字	21	21		・受信した購入記録情報の項目「送信者識別符号」を設定する。
2		送信者識別符号区分	senderIdType	半角数字	1	1		・受信した購入記録情報の項目「送信者識別符号区分」を設定する。
3		送信番号	sendNo	半角数字	17	17		・受信した購入記録情報の項目「送信番号」を設定する。
4		手続ID	proceduresId	半角英数	1	1		・受信した購入記録情報の項目「手続ID」を設定する。
5		バージョン	version	半角数字	3	3		・受信した購入記録情報の項目「バージョン」を設定する。
6	結果通知	チェック日時	checkDate	半角数字	14	14	○	・購入記録情報をチェックした日時を設定する。 yyyymmddhhMMss
7		処理結果	result	半角英字	2	2	○	・受信した購入記録情報のチェック処理結果を設定する。 OK=正常終了(ワーニング含む)⇒購入記録情報を受け付けている。 NG=エラー⇒購入記録情報を受け付けていない。
8		受付番号	receiveNo	半角数字	20	20		・項目「処理結果」が「OK」の場合に、受付番号を設定する。 ・本番環境の場合は先頭に0～8のいずれかを、テスト環境の場合は先頭に9を設定する。 ・項目「処理結果」が「NG」の場合は、空白を設定する。
9		処理結果詳細	details					・項目「処理結果」が「OK」でワーニングがない場合は、項番10及び11は設定しない。 ・項目「処理結果」が「OK」でワーニングがある場合、又は項目「処理結果」が「NG」の場合は、項番10及び11の項目を、複数回繰り返し設定する。 ・繰り返しの上限は無し(最大で1200回繰り返しが発生しうる)。
10	結果詳細 (繰り返し項目)	処理結果一連番号	detailNo	半角数字	4	4		・分類「結果詳細」内の通し番号を設定する。 ・繰り返しの中で1から順にカウントアップする。
11		処理結果コード	errorCode	半角英数	15	15		・「チェック種別」「通番」「項目ID略称」「物品一連番号」で構成され、「項目ID略称」の前後に“-”を設定する。(例:S1204-PPNO-0000) ・処理結果コードの一覧は、「単項目チェックエラーコード」、「関連項目チェックエラーコード」及び「ワーニングコード」に示す。なお、「チェック種別」には、以下の3種類がある。 S:単項目チェックエラー(項目ごとの独自の属性によりチェックした場合、エラーとなるもの) R:関連チェックエラー(関連する複数項目間のチェック等をした場合、エラーとなるもの) W:ワーニング(本システムでの受付については正常終了したが、注意喚起メッセージを出力するもの) ・「物品一連番号」は、「購入記録情報インターフェース」の分類「物品情報(繰り返し項目)」内でエラーとなった「物品一連番号」を設定する。分類「物品情報(繰り返し項目)」以外の項目の場合、“0000”を設定する。

別紙3-1_単項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1		条件2		備考	エラー時の対応方法
S0101-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	空チェック (入力漏れでないか)						送信者識別符号を設定する
S0102-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	21	最大長=	21		送信者識別符号を21桁で設定する
S0104-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[0-9]*"				送信者識別符号を半角数字のみで設定する
S0201-IDTP-0000	送信者識別 符号区分	senderIdType	空チェック (入力漏れでないか)						送信者識別符号区分を設定する
S0209-IDTP-0000	送信者識別 符号区分	senderIdType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1"				送信者識別符号区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (輸出物品販売場を経営する事業者、臨時販売場を設置する事業者) ・'1' (承認送信事業者)
S0301-SENO-0000	送信番号	sendNo	空チェック (入力漏れでないか)						送信番号を設定する
S0302-SENO-0000	送信番号	sendNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	17	最大長=	17		送信番号を17桁で設定する
S0304-SENO-0000	送信番号	sendNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	年日時分秒+ 数字チェック				送信番号を以下の形式で設定する ・1～8桁目:送信年月日 (yyyymmdd) ・9～14桁目:送信時分秒 (hhMMss) ・15～17桁目:半角数字
S0401-PRID-0000	手続ID	procedureId	空チェック (入力漏れでないか)						手続IDを設定する
S0409-PRID-0000	手続ID	procedureId	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"A"				手続IDに' A' (購入記録情報の送信)を設定する
S0501-VERS-0000	バージョン	version	空チェック (入力漏れでないか)						バージョンを設定する
S0509-VERS-0000	バージョン	version	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"1"				バージョンに' 1'を設定する
S0601-NAME-0000	氏名	name	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)						氏名を設定する
S0602-NAME-0000	氏名	name	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長=	39		氏名を39桁以内で設定する
S0604-NAME-0000	氏名	name	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z,]*"				氏名を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字) ・半角スペース
S0701-NATN-0000	国籍	nation	空チェック (入力漏れでないか)						国籍を設定する
S0702-NATN-0000	国籍	nation	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	3	最大長=	3		国籍を3桁で設定する
S0704-NATN-0000	国籍	nation	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z]*"				国籍を半角英字(大文字)のみで設定する
S0801-BIRT-0000	生年月日	birth	空チェック (入力漏れでないか)						生年月日を設定する
S0807-BIRT-0000	生年月日	birth	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd				生年月日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する
S0901-STAT-0000	在留資格	status	空チェック (入力漏れでないか)						在留資格を設定する
S0902-STAT-0000	在留資格	status	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	2	最大長=	2		在留資格を2桁で設定する
S0904-STAT-0000	在留資格	status	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[0-9]*"				在留資格を半角数字のみで設定する
S1001-LNDT-0000	上陸年月日	landDate	空チェック (入力漏れでないか)						上陸年月日を設定する
S1007-LNDT-0000	上陸年月日	landDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd				上陸年月日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する
S1101-DCTP-0000	旅券等種類	docType	空チェック (入力漏れでないか)						旅券等種類を設定する
S1109-DCTP-0000	旅券等種類	docType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"1","2","3","4" "5","6"				旅券等種類に以下のいずれかを設定する ・'1' (旅券(パスポート)) ・'2' (船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合)) ・'3' (船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合)) ・'4' (乗員上陸許可書) ・'5' (緊急上陸許可書) ・'6' (遭難による上陸許可書)
S1202-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	7	最大長=	11	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	旅券番号を7桁以上、11桁以内で設定する
S1204-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z0-9]*"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	旅券番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字) ・半角数字
S1302-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長=	15	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	許可書番号を15桁以内で設定する
S1304-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[a-zA-Z0-9]*"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	許可書番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字
S1409-PRTP-0000	出国区分	portType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1","2","3" "4"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (未定) ・'1' (空港) ・'2' (港) ・'3' (その他) ・'4' (不明)
S1507-DPDT-0000	出国予定日	departDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する

別紙3-1_単項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1	条件2	備考	エラー時の対応方法
S1602-PORT-0000	出国予定地	port	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=3	最大長=3	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定地を3桁で設定する
S1604-PORT-0000	出国予定地	port	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[A-Z]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定地を半角英字(大文字)のみで設定する
S1702-VHCL-0000	出国予定便	vehicle	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=7	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定便を7桁以内で設定する
S1704-VHCL-0000	出国予定便	vehicle	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[a-zA-Z0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定便を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字
S1801-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	空チェック (入力漏れでないか)				販売場識別符号を設定する
S1802-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=21	最大長=21		販売場識別符号を21桁で設定する
S1804-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[0-9]*"			販売場識別符号を半角数字のみで設定する
S1909-SHTP-0000	手続委託型区分	shopType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	手続委託型区分に以下のいずれかを設定する ・'0'(委託なし(一般型輸出品販売場)) ・'1'(承認免税手続事業者に委託(手続委託型輸出品販売場))
S2009-SUON-0000	手続委託型合算区分	sumOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	手続委託型合算区分に以下のいずれかを設定する ・'0'(合算判定なし) ・'1'(合算判定あり)
S2101-SHNM-0000	販売場名称	shopName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				販売場名称を設定する
S2102-SHNM-0000	販売場名称	shopName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=70		販売場名称を70桁以内で設定する
S2103-SHNM-0000	販売場名称	shopName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=210	文字セット=UTF-8		販売場名称を210バイト以内で設定する
S2110-SHNM-0000	販売場名称	shopName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる			販売場名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2201-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				販売場所在地を設定する
S2202-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=70		販売場所在地を70桁以内で設定する
S2203-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=210	文字セット=UTF-8		販売場所在地を210バイト以内で設定する
S2210-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる			販売場所在地を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2301-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				事業者氏名名称を設定する
S2302-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		事業者氏名名称を50桁以内で設定する
S2303-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=150	文字セット=UTF-8		事業者氏名名称を150バイト以内で設定する
S2310-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる			事業者氏名名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2401-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				事業者納税地を設定する
S2402-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		事業者納税地を50桁以内で設定する
S2403-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=150	文字セット=UTF-8		事業者納税地を150バイト以内で設定する
S2410-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる			事業者納税地を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2501-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	空チェック (入力漏れでないか)				譲渡年月日を設定する
S2507-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット(厳密)=yyyymmdd			譲渡年月日を日付の形式(yyyymmdd)で設定する
S2608-TIME-0000	譲渡時刻	sellTime	型チェック(日付) (所定の時刻形式か)	日付フォーマット(厳密)=hhMM		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	譲渡時刻を時刻の形式(hhMM)で設定する
S2702-RCNO-0000	伝票番号	receiptNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=10	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	伝票番号を10桁以内で設定する
S2704-RCNO-0000	伝票番号	receiptNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[a-zA-Z0-9- /-@¥[-*¥[-*]"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 半角記号は以下を可能とする。 !#\$%&'()*+,-./:<=>?@[¥]`~`のいずれか	伝票番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字 ・半角記号(!#\$%&'()*+,-./:<=>?@[¥]`~`のいずれか) ・半角スペース
S2801-TRON-0000	運送区分	transOrNot	空チェック (入力漏れでないか)				運送区分を設定する
S2809-TRON-0000	運送区分	transOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"			運送区分に以下のいずれかを設定する ・'0'(行っていない(通常の引渡し)) ・'1'(行った(販売時に海外へ直送))

別紙3-1_単項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1	条件2	備考	エラー時の対応方法
S2901-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	空チェック (入力漏れでないか)				一般物品合計額を設定する
S2904-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""([-]?0[1-9][0-9]*)?\$		一般物品合計額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S2905-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-999999999		一般物品合計額を「-999999999」以上の整数で設定する
S2906-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	999999999		一般物品合計額を「999999999」以下の整数で設定する
S3001-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	空チェック (入力漏れでないか)				消耗品合計額を設定する
S3004-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""([-]?0[1-9][0-9]*)?\$		消耗品合計額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S3005-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-999999999		消耗品合計額を「-999999999」以上の整数で設定する
S3006-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	999999999		消耗品合計額を「999999999」以下の整数で設定する
S3101-LQON-0000	酒税適用有無(全体)	iqExemptOrNot	空チェック (入力漏れでないか)				酒税適用有無(全体)を設定する
S3109-LQON-0000	酒税適用有無(全体)	iqExemptOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1"		酒税適用有無(全体)に以下のいずれかを設定する ・'0' (酒税の免税の適用なし) ・'1' (酒税の免税の適用あり)
S3202-NOTE-0000	備考	note	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長= 30	NULL又は空以外の場合のみチェックする。 備考を30桁以内で設定する
S3203-NOTE-0000	備考	note	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=	90	文字セット= UTF-8	NULL又は空以外の場合のみチェックする。 備考を90バイト以内で設定する
S3210-NOTE-0000	備考	note	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 備考を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S3302-DETA-0000	物品明細	details	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長= 50	1取引につき51品目以上の免税販売がある場合には、購入記録情報を分割して作成する
S3401-SERI-00**	物品一連番号	serial	空チェック (入力漏れでないか)				物品一連番号を設定する
S3404-SERI-00**	物品一連番号	serial	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""([1-9][0-9]*)\$		物品一連番号を「1」から「50」までの範囲内の整数で設定する。(先頭0は不可)
S3405-SERI-00**	物品一連番号	serial	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	1		物品一連番号を「1」以上の整数で設定する
S3406-SERI-00**	物品一連番号	serial	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	50		物品一連番号を「50」以下の整数で設定する
S3501-GOTP-00**	物品区分	goodsType	空チェック (入力漏れでないか)				物品区分を設定する
S3509-GOTP-00**	物品区分	goodsType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"1","2"		物品区分に以下のいずれかを設定する ・'1' (一般物品) ・'2' (消耗品)
S3601-GONM-00**	品名	goodsName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				品名を設定する
S3602-GONM-00**	品名	goodsName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長= 50	品名を50桁以内で設定する
S3603-GONM-00**	品名	goodsName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=	150	文字セット= UTF-8	品名を150バイト以内で設定する
S3610-GONM-00**	品名	goodsName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		品名を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S3702-JNCD-00**	JANコード	janCode	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長= 13	NULL又は空以外の場合のみチェックする。 JANコードを13桁以内で設定する
S3704-JNCD-00**	JANコード	janCode	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 JANコードを半角数字のみで設定する
S3801-NUMB-00**	数量	number	空チェック (入力漏れでないか)				数量を設定する
S3804-NUMB-00**	数量	number	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""([-]?0[1-9][0-9]*)?\$		数量を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S3805-NUMB-00**	数量	number	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-9999		数量を「-9999」以上の整数で設定する
S3806-NUMB-00**	数量	number	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	9999		数量を「9999」以下の整数で設定する
S3902-UNIT-00**	単位	unit	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長= 5	NULL又は空以外の場合のみチェックする。 単位を5桁以内で設定する
S3903-UNIT-00**	単位	unit	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=	15	文字セット= UTF-8	NULL又は空以外の場合のみチェックする。 単位を15バイト以内で設定する
S3910-UNIT-00**	単位	unit	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 単位を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S4004-UNPR-00**	単価	unitPrice	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""([-]?0[1-9][0-9]*)?\$		単価を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S4005-UNPR-00**	単価	unitPrice	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-999999999		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 単価を「-999999999」以上の整数で設定する
S4006-UNPR-00**	単価	unitPrice	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	999999999		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 単価を「999999999」以下の整数で設定する

別紙3-1_単項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1		条件2		備考	エラー時の対応方法
S4101-SLPR-00**	販売価額	price	空チェック (入力漏れでないか)						販売価額を設定する
S4104-SLPR-00**	販売価額	price	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="^[0-9]{1,10}([0-9]{1,10}){0,1}\$"					販売価額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S4105-SLPR-00**	販売価額	price	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値	-999999999				販売価額を「-999999999」以上の整数で設定する
S4106-SLPR-00**	販売価額	price	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値	999999999				販売価額を「999999999」以下の整数で設定する
S4201-REDU-00**	消費税軽減税率対象区分	reduced	空チェック (入力漏れでないか)						消費税軽減税率対象区分を設定する
S4209-REDU-00**	消費税軽減税率対象区分	reduced	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"					消費税軽減税率対象区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (軽減税率対象外) ・'1' (軽減税率対象)
S4301-LQIN-00**	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	空チェック (入力漏れでないか)						酒税適用有無(物品)を設定する
S4309-LQIN-00**	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"					酒税適用有無(物品)に以下のいずれかを設定する ・'0' (酒税の免税の適用なし) ・'1' (酒税の免税の適用あり)

(上記の**には、01～50が設定される)

別紙4-1_相関項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの複数項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	エラー時の対応方法
R0010-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	PPNO	旅券等種類=1又は2の場合 ・旅券番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①旅券番号を設定する ②旅券等種類に次のいずれかを設定する ・'3'(船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合)) ・'4'(乗員上陸許可書) ・'5'(緊急上陸許可書) ・'6'(遭難による上陸許可書)
	旅券等種類	docType	DCTP		
R0020-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	LPNO	旅券等種類=3、4、5又は6の場合 ・許可書番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①許可書番号を設定する ②旅券等種類に次のいずれかを設定する ・'1'(旅券(パスポート)) ・'2'(船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合))
	旅券等種類	docType	DCTP		
R0030-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象販売合計額を設定する ②酒税適用有無(全体)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0031-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は「-999999999」～「999999999」の範囲内の整数であること。	酒税免税対象販売合計額を「-999999999」～「999999999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0032-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は、物品情報の酒税適用有無(物品)=1である繰り返し分の販売価額を合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税免税対象販売合計額を確認する ②酒税適用有無(物品)を確認する ③酒税適用有無(物品)が'1'(酒税の免税の適用あり)である繰り返し分の販売価額を確認する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
	販売価額	price	SLPR		
R0033-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=0の場合 ・酒税免税対象販売合計額は入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象販売合計額の入力値を削除する ②酒税適用有無(全体)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0040-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象酒類総本数を設定する ②酒税適用有無(全体)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0041-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は「-999999」～「999999」の範囲内の整数であること。	酒税免税対象酒類総本数を「-999999」～「999999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0042-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は、酒税適用有無(物品)=1である繰り返し分の(酒税)本数を合計した本数と同じであること。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税免税対象酒類総本数を確認する ②酒税適用有無(物品)を確認する ③酒税適用有無(物品)が'1'(酒税の免税の適用あり)である繰り返し分の(酒税)本数を確認する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
	(酒税)本数	lqNumber	LQNU		
R0043-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=0の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象酒類総本数の入力値を削除する ②酒税適用有無(全体)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0050-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)品目分類は、空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)品目分類を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0051-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)品目分類は3桁の整数であること	(酒税)品目分類を3桁の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0052-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)品目分類が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)品目分類の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0060-LQAL-00**	(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)アルコール分は2桁以内の整数又は未入力であること。	以下のいずれかを行う ①(酒税)アルコール分を2桁以内の整数で設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する ③(酒税)アルコール分の入力値を削除する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0061-LQAL-00**	(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)アルコール分が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)アルコール分の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0070-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)税率は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)税率を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0071-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)税率は7桁以内の整数であること。	(酒税)税率を7桁以内の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		

別紙4-1_関連項目チェックエラーコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの複数項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	エラー時の対応方法
R0072-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)税率が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)税率の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0080-LQCP-00**	(酒税)容器容量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)容器容量は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)容器容量を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0081-LQCP-00**	(酒税)容器容量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)容器容量は7桁以内の整数であること。	(酒税)容器容量を7桁以内の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0082-LQCP-00**	(酒税)容器容量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)容器容量が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)容器容量の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0090-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)本数は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)本数を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0091-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)本数は「-9999」～「9999」の範囲内の整数であること。	(酒税)本数を「-9999」～「9999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0092-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)本数が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)本数の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0100-TRNM-0000	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	運送区分=1の場合 ・運送事業者氏名名称が空白でないこと。 ・運送事業者氏名名称が30文字以内で設定されていること。 ・運送事業者氏名名称が90バイト以内で設定されていること。	以下のいずれかを行う ①運送事業者氏名名称に30文字以内かつ90バイト以内の名称を設定する ②運送区分に'0'(行っていない(通常の引渡し))を設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0101-TRNM-0000	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	運送区分=1の場合 ・運送事業者氏名名称は免税販売管理システムで使用可能な文字のみで入力されていること。	運送事業者氏名名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0102-TRNM-0000	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	運送区分=0の場合 ・運送事業者氏名名称が空白であること	以下のいずれかを行う ①運送事業者氏名名称を削除する ②運送区分に'1'(行った(販売時に海外へ直送))を設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0110-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	GENE	一般物品合計額は、物品情報の物品区分=1である繰り返し分の販売価額を合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①一般物品合計額を確認する ②物品区分を確認する ③物品区分が'1'(一般物品)である繰り返し分の販売価額を確認する
	物品区分	goodsType	GOTP		
	販売価額	price	SLPR		
R0120-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	消耗品合計額は、物品情報の物品区分=2である繰り返し分の販売価額を合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①消耗品合計額を確認する ②物品区分を確認する ③物品区分が'2'(消耗品)である繰り返し分の販売価額を確認する
	物品区分	goodsType	GOTP		
	販売価額	price	SLPR		
R0130-LQON-0000	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON	物品情報に酒税適用有無(物品)=1を含む場合、酒税適用有無(全体)=1である。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税適用有無(物品)を確認する ②酒税適用有無(全体)を確認する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0140-SERI-00**	物品一連番号	serial	SERI	データを上から読み取った場合、物品一連番号が繰り返し1回ごとに1が加算されている(連番になっている)こと。	物品一連番号が1から連番になるように設定する

(上記の**には、01～50が設定される)

別紙5-1_ワーニングコード(ver1)

購入記録情報インターフェースの項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たす場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、ワーニングコード欄のコードを設定して返却します。(この場合、購入記録情報の受付はされているため、訂正がなければワーニングへの対応は不要です。)

ワーニングコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	ワーニング時の対応方法
W0001-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	SLDT	譲渡年月日 ≥ (上陸年月日 + 184日)の場合ワーニング	上陸年月日、譲渡年月日の設定に誤りがないか確認する
W0002-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	GENE	1円 ≤ 一般物品合計額 ≤ 4999円 の場合ワーニング	一般物品合計額の設定に誤りがないか確認する
W0003-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	1円 ≤ 消耗品合計額 ≤ 4999円の場合ワーニング	消耗品合計額の設定に誤りがないか確認する
W0004-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	消耗品合計額 ≥ 500001円の場合ワーニング	消耗品合計額の設定に誤りがないか確認する

(留意点)

いずれの場合も、正常に受信されていますが、免税販売の要件を満たしているかの観点から、送信内容の確認を行う必要があります。

別紙6-1_HTTPステータスコード(ver1)

購入記録情報の送信が正常に終了したか否かについては、HTTPステータスコードで判定することができます。「201」以外が返却された場合、再送信が必要になりますが、「470」以外については様々な要因が考えられます。対応の参考となるよう、主なHTTPステータスコード及び代表的な対応方法を、以下に示します。

状態	ステータスコード	受信結果通知の有無(※)	エラー時の対応方法
正常終了	201	有	—
異常終了 (業務エラー)	470	有	本システム内の業務チェックによりエラーとして返却されるコード。 「処理結果コード」に設定されたエラーコードを確認し、必要な修正を行った上で再度送信する。
異常終了 (システムエラー等)	403	無	RFC7231等で定義されているコード。以下同じ。 HTTPメソッドの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、HTTPメソッドを「POST」に修正した上で再度送信する。
	404	無	リクエストURLの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、本仕様書で定めている「リクエストURL」に修正した上で再度送信する。
	405	無	HTTPメソッドの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、HTTPメソッドを「POST」に修正した上で再度送信する。
	415	無	データ形式に誤りがある可能性があるため、以下の内容を確認し、必要な修正を行った上で再度送信する。 ・Content-Typeの設定値が、本仕様書で定めている「Content-Type」となっていること ・Jsonのデータ形式が正しいこと(数字以外の設定値について「”」で囲っていること、設定値に半角記号「'」が含まれていないこと等)
	501	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、必要に応じて、DNSに再問い合わせ(IPアドレスの問合せ)を行った上で再度送信する。
	503	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、間隔を空けてから、再度送信する。
	504	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、間隔を空けてから、再度送信する。

※HTTPボディ(購入記録情報受信結果通知インターフェースに定義された情報)の有無

別紙1-2 購入記録情報インターフェース(ver2)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型 (※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
1	ヘッダ情報	送信者識別符号	senderId	SEID	半角数字	21	21	○	・21桁であること。	・購入記録情報を送信する者の税務署長から通知を受けた21桁の識別符号を設定する。 ・複数の輸出物品販売場を営業者の事業者の場合その他複数の識別符号の通知を受けている場合、いずれの輸出物品販売場識別符号を用いても差し支えない。 ・購入記録情報を送信した際に、受信結果通知の返却を確認することができない場合は、再送信が必要となるが、この場合の再送信する購入記録情報の送信者識別符号は、受信結果通知の返却を確認することができなかった購入記録情報の送信者識別符号から変更しない。
2		送信者識別符号区分	senderIdType	IDTP	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。	・項目「送信者識別符号」で設定した識別符号の種類を、次から選択して設定する。 0=輸出物品販売場を営業者の事業者、臨時販売場を設置する事業者 1=承認送信事業者
3		送信番号	sendNo	SENO	半角数字	17	17	○	・17桁であること。 ・yyyymmddhhMMssXXX (yyyymmdd=年 月 日、hhMMss=時 分 秒、XXX=半角数字) であること。	・購入記録情報を送信する時刻を設定する。 ・項目「送信者識別符号」と項目「送信番号」で送信者が購入記録情報を特定できるよう、送信時刻に任意の「通番」を結合して次のように設定する。 yyyymmddhhMMssXXX (yyyymmdd=送信年月日、hhMMss=送信時分秒、XXX=通番) ・購入記録情報を送信した際に、受信結果通知の返却を確認することができない場合は、再送信が必要となるが、この場合の再送信する購入記録情報の送信番号は、受信結果通知の返却を確認することができなかった購入記録情報の送信番号から変更しない。
4		手続ID	proceduresId	PRID	半角英数	1	1	○	・Aであること。	・手続IDを設定する。 A=購入記録情報
5		バージョン	version	VERS	半角数字	3	3	○	・2であること。	・手続IDにおけるバージョン「2」を設定する。
6	旅券等情報	氏名	name	NAME	半角英大 字記号(*)	39	39	○		・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された氏名を設定する。 ・旅券(パスポート)の場合は、Surname(姓)＋半角スペース＋Given names(名)の順で旅券等に記載のとおり設定する。上陸許可書による場合の入力順についても同様。 (例) 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーン(パスポートリーダー等でOCR認識を行う部分)に、「EDWARDS<<AMY<<GRACE」と表記されている場合は、「EDWARDS AMY GRACE」となる。 ・データ型の記号については「半角スペース」のみ設定可能。その他の記号(「」」「」など)は記載がないものとして取り扱う。
7		国籍	nation	NATN	半角英大 字	3	3	○	・3桁であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された国籍を次のとおり設定する。 ① 旅券(パスポート)又は船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷があるもの)である場合 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーンの2行目に表示されている国籍情報を設定する。ただし、国籍情報が3桁以外の場合又は旅券(パスポート)にマシン・リーダブル・ゾーンがない場合は、ISO3166-1 alpha-3に従った国コードを設定する。 ② 上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある船舶観光上陸許可書を除く。)である場合 上陸許可書に表示されている国籍に対応するISO3166-1 alpha-3に従った国コードを設定する。 (※) 旅券(パスポート)のマシン・リーダブル・ゾーンの2行目に表示されている国籍情報は、ICAO(国際民間航空機関) document9303「Machine Readable Travel Documents」に示されている。 (例) ・マシン・リーダブル・ゾーンの国籍情報に「D<<<」(ドイツ)と表示されている場合は、「DEU」を設定する。 ・香港からの旅行者等が有する旅券等で国籍情報に「CHN」と表示されている場合は、「CHN」を設定する(「HKG」ではない)。
8		生年月日	birth	BIRT	半角数字	8	8	○	・yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された生年月日を設定する。
9		在留資格	status	STAT	半角数字	2	2	○	・2桁であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等で確認した留資格等を、コード表「在留資格コード」から選択して設定する。
10		上陸年月日	landDate	LNDT	半角数字	8	8	○	・yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等で確認した上陸年月日を設定する。
11		旅券等種類	docType	DCTP	半角数字	1	1	○	・1から6までのいずれかであること。	・非居住者から提示を受けた旅券等の種類を、次から選択して設定する。 1=旅券(パスポート) 2=船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合) 3=船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合) 4=乗員上陸許可書 5=緊急上陸許可書 6=遭難による上陸許可書
12		旅券番号	passportNo	PPNO	半角英大 字数字	11	11	△	・項目「旅券等種類」の値が1又は2の場合に必須。 ・設定する場合は、7桁以上であること。	・非居住者から提示を受けた旅券等に記載された番号を設定する。 ・項目「旅券等種類」の値が3から6までのいずれかの場合は必須ではなく任意で設定する。 ・旅券(パスポート)に記載された番号が7桁に満たない場合は先頭を0で埋めて7桁とする。旅券(パスポート)に記載された番号が7桁以上の場合は先頭を0で埋めず、記載された桁数のまま設定する。
13		許可書番号	landingPermitNo	LPNO	半角英数	15	15	△	・項目「旅券等種類」の値が3から6までのいずれかの場合に必須。	・非居住者から提示を受けた上陸許可書(旅券(パスポート)の写しが添付又は裏面印刷された船舶観光上陸許可書を除く。)に記載されている許可書番号(漢字、記号及びスペースを除いた半角英数字)を設定する。 (例)「福 123 12345」の場合「12312345」。「福 長 20-Abc1234567」の場合「20Abc1234567」 ・項目「旅券等種類」の値が1又は2の場合は必須ではなく任意で設定する。
14		出国区分	portType	PRTP	半角数字	1	1		・設定する場合は、0から4までのいずれかであること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国地の種類を、次から選択して設定する。 0=未定 1=空港 2=港 3=その他 4=不明
15		出国予定日	departDate	DPDT	半角数字	8	8		・設定する場合は、yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定日を設定する。
16		出国予定地	port	PORT	半角英大 字	3	3		・設定する場合は、3桁であること。	・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定地(空港・港湾)について、コード表「出国地コード」から選択して設定する。コード表に該当するコードが存在しない場合は、設定しない。
17		出国予定便	vehicle	VHCL	半角英数	7	7			・非居住者に対して免税販売を行うときに、非居住者の出国に関する情報を確認した場合には、その出国予定便について、その①又は②の区分に応じて、それぞれ設定する。 ① 項目「出国区分」の値が1の場合、航空券等に記載されている便名(例: AB1234)を設定する。 ② 項目「出国区分」の値が2の場合、コード表「船コード」から選択して設定する。コード表に該当するコードが存在しない場合は設定しない。

分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型 (※)	桁数	byte 数	必須 区分	その他の必須条件	説明
販売場情報	販売場識別符号	shopId	SHID	半角数字	21	21	○	・21桁であること。	・非居住者に対して免税販売を行う輸出物品販売場に付された輸出物品販売場識別符号(臨時販売場)については、臨時販売場を設置する事業者に対して通知された臨時販売場の識別符号を設定する。
	販売場区分	shopType	SHTP	半角数字	1	1	○		・項目「販売場識別符号」で設定した輸出物品販売場の区分を、次から選択して設定する。 0=一般型輸出物品販売場(委託なし) 1=手続委託型輸出物品販売場(承認免税手続事業者に委託) 2=自動販売機型輸出物品販売場 ・臨時販売場については、臨時販売場設置届出書により届け出た臨時販売場の区分に応じて設定する。
	手続委託型合算区分	sumOrNot	SUON	半角数字	1	1		・設定する場合は、0又は1であること。	・項目「販売場区分」の値が1の場合、免税手続カウンターにおいて、複数の手続委託型輸出物品販売場(手続委託型輸出物品販売場とみなされる臨時販売場を含む。)で販売した商品について合計して免税下限額以上であるかを判定したか否かを、次から選択して設定する。 0=合計判定なし 1=合計判定あり
	販売場名称	shopName	SHNM	日本語	70	210	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場又は臨時販売場の名称を設定する。 (例)国税商店霞ヶ関3丁目店、国税商店自動販売機3号機店 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
販売場情報	自動販売機指定番号	machineApprovalNo	MANO	半角数字	8	8	△	・8桁であること。 ・項目「販売場区分」の値が2の場合に必須。 ・項目「販売場区分」の値が0又は1の場合に設定がないこと。	・自動販売機型輸出物品販売場(自動販売機型輸出物品販売場とみなされる臨時販売場を含む。)での免税販売を行った自動販売機について、免税販売が可能な自動販売機として国税庁長官が観光庁長官と協議の上指定した際(国税庁長官告示)に当該自動販売機の機種に付された行政上の指定番号を設定する。 (例)2021年1次指定001号であれば、「20211001」となる。
	自動販売機管理番号	machineSerialNo	MSNO	半角英数字	15	15	△	・項目「販売場区分」の値が2の場合に必須。 ・項目「販売場区分」の値が0又は1の場合に設定がないこと。	・自動販売機型輸出物品販売場(自動販売機型輸出物品販売場とみなされる臨時販売場を含む。)での免税販売を行った自動販売機について、「自動販売機型輸出物品販売場における指定自動販売機に係る仕様書」に基づき、1台ごとに管理者等が設定・表示等した15桁英数字の管理番号を設定する。 ・漢字や記号など英数字以外は設定せず、全角は半角に置き換える。 (例) 123456789012345(数字のみの場合) ABCDE0123456789(英数字の場合)
	販売場所在地	shopPlace	SHPL	日本語	70	210	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場又は臨時販売場の所在地を設定する。 (例)東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 5階 ・自動販売機型輸出物品販売場について、同一住所に複数の自動販売機を設置する場合は、設置場所、販売商品など、自動販売機を特定する情報を追加する。 (例)東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 5階エレベーターホール ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
	事業者氏名名称	bizName	BZNM	日本語	50	150	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場を経営する事業者又は臨時販売場を設置する事業者の氏名又は名称を設定する。 (例)個人の場合・国税太郎、法人の場合:(株)国税商事 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
販売場情報	事業者納税地	bizPlace	BZPL	日本語	50	150	○		・非居住者に対して免税販売を行った輸出物品販売場を経営する事業者又は臨時販売場を設置する事業者の消費税法における納税地を設定する。 (例)東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 5階 ・桁数を超える場合、超える部分を削除する、又は、適宜の簡略表記を行うことで桁数以内となるように設定する。
	譲渡年月日	sellDate	SLDT	半角数字	8	8	○	・yyyymmdd(年月日)であること。	・非居住者に対して免税販売を行った年月日を設定する。 ・受信チェックにおいて、項目「上陸年月日」を日付形式に変換し、184日を足した日を、当項目の日が越える場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0001-SLDT-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
	譲渡時刻	sellTime	TIME	半角数字	4	4		・設定する場合は、hhMM(時分)であること。	・非居住者に対して免税販売を行った時刻を設定する。 ・決済時刻等の販売時刻に近接するもので差し支えない。
	伝票番号	receiptNo	RCNO	半角英数字(*)	10	10			・レシートに表示した番号等、輸出物品販売場と免税対象物品を購入した非居住者などが取引の事実を共有した書類等に付された識別番号等を設定する。 ・データ型の記号のうち設定可能なものは、「!」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「-」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「\」、`]」、「_」、「`」、「 」、「~」、「^」、「 」である。
販売場情報	運送区分	transOrNot	TRON	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。 ・項目「販売場区分」の値が2の場合、0であること。	・非居住者と国際第二種貨物利用運送事業者との間において免税対象物品の輸出に係る運送契約を締結して引渡しを行ったか否か、次から選択して設定する。 0=行っていない(通常の引渡し) 1=行った(販売時に海外へ直送)
	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	日本語	30	90	△	・項目「運送区分」の値が1の場合に必須。 ・項目「運送区分」の値が0の場合、設定がないこと。	・項目「運送区分」の値が1の場合、非居住者から提出を受けた運送契約書の写しに記載されている国際第二種貨物利用運送事業者の氏名又は名称を設定する。
	一般物品合計額	generalTotal	GENE	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が1である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し合計した値の±100以内の値であること。	・一般物品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・一般物品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0002-GENE-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
	消耗品合計額	consumTotal	CONS	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が2である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し合計した値の±100以内の値であること。	・消耗品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・消耗品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0003-CONS-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
販売場情報	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	日本語	30	90	△	・項目「運送区分」の値が1の場合に必須。 ・項目「運送区分」の値が0の場合、設定がないこと。	・項目「運送区分」の値が1の場合、非居住者から提出を受けた運送契約書の写しに記載されている国際第二種貨物利用運送事業者の氏名又は名称を設定する。
	一般物品合計額	generalTotal	GENE	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が1である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し合計した値の±100以内の値であること。	・一般物品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・一般物品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0002-GENE-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
	消耗品合計額	consumTotal	CONS	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。 ・項目「物品区分」の値が2である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し合計した値の±100以内の値であること。	・消耗品の免税販売価額の合計額を設定する。単位は円。 ・消耗品の免税販売がない場合は0を設定する。 ・受信チェックにおいて、当項目が1から4999までの値である場合、受信結果通知インターフェースの処理結果コードにW0003-CONS-0000(ワーニング)を設定して返却する。(この場合、購入記録情報の受付はされているので訂正がなければワーニングへの対応は不要。)
	運送事業者氏名名称	transName	TRNM	日本語	30	90	△	・項目「運送区分」の値が1の場合に必須。 ・項目「運送区分」の値が0の場合、設定がないこと。	・項目「運送区分」の値が1の場合、非居住者から提出を受けた運送契約書の写しに記載されている国際第二種貨物利用運送事業者の氏名又は名称を設定する。

別紙1-2 購入記録情報インターフェース(ver2)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型(※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
34		酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON	半角数字	1	1	○	・項目「酒税適用有無(物品)」の値を、繰り返し分合計した値が0の場合は0であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値を、繰り返し分合計した値が1以上の場合は1であること。	・酒税の免税の適用がある酒類の販売が含まれているか否かを、「その他の必須条件」の条件に従い、次から選択して設定する。 0=酒税の免税の適用なし 1=酒税の免税の適用あり
35		酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	半角数字	9	10	△	・項目「酒税適用有無(全体)」の値が1の場合、次の①及び②の条件を両方満たすこと。 ①-999999999から999999999までの整数であること。 ②項目「酒税適用有無(物品)」の値が1である物品情報の項目「販売価額」の値を、繰り返し分合計した値の±100以内の値であること。 ・項目「酒税適用有無(全体)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある酒類の販売価額の合計額を、「その他の必須条件」の条件に従い設定する。 ・単位は円。
36		酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	半角数字	6	7	△	・項目「酒税適用有無(全体)」の値が1の場合、次の①及び②の条件を両方満たすこと。 ①-999999から999999までの整数であること。 ②項目「酒税適用有無(物品)」の値が1である物品情報の項目「(酒税)本数」の値を、繰り返し分合計した値と同じ値であること。 ・項目「酒税適用有無(全体)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある酒類の総本数を、「その他の必須条件」の条件に従い設定する。 ・単位は本。
37	販売場情報	備考	note	NOTE	日本語	30	90			・項目「在留資格」において「99」=その他を設定した場合に、具体的な在留資格名等を設定する。 ・受信結果通知の返却がない場合に行う再送信であるときは、再送信である旨の記載を設定する。 ・災害その他やむを得ない事情により、免税販売手続の都度、即時に購入記録情報を送信できなかった場合の消費税法等の規定に基づく事後送信であるときは、事後送信である旨及び事後送信となった要因を設定する。 (例) 事後送信(地震による停電のため) ・その他特に留意する情報があれば設定する。なお、設定する事項が複数あった場合、その設定の順番及び設定方法は問わない。
38		物品明細	details	DETA					・繰り返しの上限が50回であること。	・1回の販売により2以上の免税対象物品を販売した場合、項番39から53までの項目を、複数回繰り返し設定する。 ・繰り返しの上限は50回。51回以上繰り返す場合は、購入記録情報を分割する。(分割したことを示す情報の設定は不要。) ・物品情報の中でマイナスでの設定を可能としている販売価額等の各項目について、繰り返し情報の中でプラスとマイナスが混在することは差し支えない。 ・複数の物品を組み合わせて価格設定等を行っている場合の購入記録情報について個々の物品ごとに物品情報を設定するときは、項番39から53までの各項目について個々の物品ごとに設定する(販売価額を個々の物品ごとに按分して設定する)。
39		物品一連番号	serial	SERI	半角数字	2	2	○	・1から50までの整数であること。 ・JSONデータを先頭から読み取ったときに、1から始まり、繰り返し1回ごとに1が加算されていること。 ・値が重複しないこと。	・分類「物品情報」内の通し番号を設定する。 ・繰り返しの中で1から順にカウントアップする。 ・最大値50の整数。 ・伝票、レシート等と同じ並び順となるように設定する。
40		物品区分	goodsType	GOTP	半角数字	1	1	○	・1又は2であること。	・免税対象物品が一般物品に該当するか、消耗品に該当するかを、次から選択する。 1=一般物品 2=消耗品 ・一般物品と消耗品とを合算して免税適用を判定した場合に消耗品とみなされる一般物品については、「2」=消耗品を設定する。
41		品名	goodsName	GONM	日本語	50	150	○		・商品の名称・型番・仕様・バージョン等、免税対象物品を特定する情報を設定する。 ・一般に商品が特定できる程度に具体的な品名を記載する。そのうえで、桁数の範囲内で事業者が独自に設定した商品コード等の情報を、商品名の後に追加することは差し支えない。 (例)カメラ●●シリーズ黒、チョコレート「■」ビタータイプ区分菓子類A10
42		JANコード	janCode	JNCD	半角数字	13	13			・JANコードを設定する。
43		数量	number	NUMB	半角数字	4	5	○	・-9999から9999までの整数であること。	・免税対象物品の販売数量を設定する。 ・返品、取消等の場合はマイナスで入力する。
44		単位	unit	UNIT	日本語	5	15			・項目「数量」に対応する単位を設定する。 (例)個、通、つ、箱、kg
45	物品情報(繰り返し項目)	単価	unitPrice	UNPR	半角数字	9	10		・設定する場合は、-999999999から999999999までの整数であること。	・免税対象物品の販売数量1単位当たりの販売価額を、円単位で設定する。 ・実際に免税販売した単価(免税価格)を設定する。 ・値引等の場合は、値引等を行った後の単価で設定するものとするが、1件の購入記録情報の中で値引等の対象がどの物品であるかを特定できることを前提として、値引等前の単価と値引等単価(マイナス)の双方を設定しても差し支えない(この場合は、それぞれ物品情報(繰り返し情報)1回としてカウント。)
46		販売価額	price	SLPR	半角数字	9	10	○	・-999999999から999999999までの整数であること。	・免税対象物品の販売価額を設定する。通常の場合、数量に単価を乗じた値となる。 ・実際に免税販売した販売価額(免税価額)を設定する。 ・返品、取消、値引等の場合は、マイナスで入力する。 ・単位は円。
47		消費税軽減税率対象区分	reduced	REDU	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。	・免税対象物品が消費税軽減税率対象資産に該当するか否か(仮にその商品を居住者に販売したならば、消費税軽減税率適用対象となるか否か)、次から選択して設定する。 0=軽減税率対象外(10%) 1=軽減税率対象(8%)
48		酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN	半角数字	1	1	○	・0又は1であること。 ・項目「販売場区分」の値が2の場合、0であること。	・酒税の免税の適用があるか否か、次から選択して設定する。 0=酒税の免税の適用なし(消費税のみ免税) 1=酒税の免税の適用あり(消費税及び酒税が免税)

別紙1-2 購入記録情報インターフェース(ver2)

項番	分類	項目名	項目ID	項目ID	データ型 (※)	桁数	byte数	必須区分	その他の必須条件	説明
49		(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	半角数字	3	3	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合に必須。 ・設定する場合は、3桁であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の品目分類について、コード表「酒品目コード」から該当するものを選択して設定する。
50		(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	半角数字	2	2		・設定する場合は、1から99までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類のアルコール分を設定する。 ・単位は度で、小数点以下を切り捨てる。
51		(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	半角数字	7	7	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、1から9999999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、本来課せられる酒税の税率を設定する。 ・単位は円/kl(円/キロリットル)。 ・租税特別措置法等の規定による軽減対象である場合、軽減後の税率を設定する。
52		(酒税)容器容量	lqCapacity	LQCP	半角数字	7	7	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、1から9999999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の容器の容量を設定する。 ・単位はml(ミリリットル)。 ・粉末酒の場合は酒税に係る法令に基づきg(グラム)をml(ミリリットル)に変換する。
53		(酒税)本数	lqNumber	LQNU	半角数字	4	5	△	・項目「酒税適用有無(物品)」の値が1の場合、-9999から9999までの整数であること。 ・項目「酒税適用有無(物品)」の値が0の場合、設定がないこと。	・酒税の免税の適用がある場合、酒類の容器の本数を設定する。 ・単位は本。 ・返品、取消等の場合は、マイナスで入力する。

※ データ型に関わらず、全ての項目において値の前後に「」を設定し(この場合の先頭と末尾の「」は桁数にカウントしない。)、先頭及び末尾以外の場所で「」を使用することはできない。

別紙2-2_受信結果通知インターフェース(ver2)

項番	分類	項目名	項目ID	データ型	桁数	byte数	必須区分	説明
1	ヘッダ情報	送信者識別符号	senderId	半角数字	21	21		・受信した購入記録情報の項目「送信者識別符号」を設定する。
2		送信者識別符号区分	senderIdType	半角数字	1	1		・受信した購入記録情報の項目「送信者識別符号区分」を設定する。
3		送信番号	sendNo	半角数字	17	17		・受信した購入記録情報の項目「送信番号」を設定する。
4		手続ID	proceduresId	半角英数	1	1		・受信した購入記録情報の項目「手続ID」を設定する。
5		バージョン	version	半角数字	3	3		・受信した購入記録情報の項目「バージョン」を設定する。
6	結果通知	チェック日時	checkDate	半角数字	14	14	○	・購入記録情報をチェックした日時を設定する。 yyyymmddhhMMss
7		処理結果	result	半角英字	2	2	○	・受信した購入記録情報のチェック処理結果を設定する。 OK=正常終了(ワーニング含む)⇒購入記録情報を受け付けている。 NG=エラー⇒購入記録情報を受け付けていない。
8		受付番号	receiveNo	半角数字	20	20		・項目「処理結果」が「OK」の場合に、受付番号を設定する。 ・本番環境の場合は先頭に0～8のいずれかを、テスト環境の場合は先頭に9を設定する。 ・項目「処理結果」が「NG」の場合は、空白を設定する。
9	結果詳細 (繰り返し項目)	処理結果詳細	details					・項目「処理結果」が「OK」でワーニングがない場合は、項番10及び11は設定しない。 ・項目「処理結果」が「OK」でワーニングがある場合、又は項目「処理結果」が「NG」の場合は、項番10及び11の項目を、複数回繰り返し設定する。 ・繰り返しの上限は無し(最大で1200回繰り返しが発生しうる)。
10		処理結果一連番号	detailNo	半角数字	4	4		・分類「結果詳細」内の通し番号を設定する。 ・繰り返しの中で1から順にカウントアップする。
11		処理結果コード	errorCode	半角英数	15	15		・「チェック種別」「通番」「項目ID略称」「物品一連番号」で構成され、「項目ID略称」の前後に“-”を設定する。(例:S1204-PPNO-0000) ・処理結果コードの一覧は、「単項目チェックエラーコード」、「関連項目チェックエラーコード」及び「ワーニングコード」に示す。なお、「チェック種別」には、以下の3種類がある。 S:単項目チェックエラー(項目ごとの独自の属性によりチェックした場合、エラーとなるもの) R:関連チェックエラー(関連する複数項目間のチェック等をした場合、エラーとなるもの) W:ワーニング(本システムでの受付については正常終了したが、注意喚起メッセージを出力するもの) ・「物品一連番号」は、「購入記録情報インターフェース」の分類「物品情報(繰り返し項目)」内でエラーとなった「物品一連番号」を設定する。分類「物品情報(繰り返し項目)」以外の項目の場合、“0000”を設定する。

別紙3-2_単項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1		条件2		備考	エラー時の対応方法
S0101-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	空チェック (入力漏れでないか)						送信者識別符号を設定する
S0102-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	21	最大長=	21		送信者識別符号を21桁で設定する
S0104-SEID-0000	送信者識別 符号	senderId	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[0-9]*"				送信者識別符号を半角数字のみで設定する
S0201-IDTP-0000	送信者識別 符号区分	senderIdType	空チェック (入力漏れでないか)						送信者識別符号区分を設定する
S0209-IDTP-0000	送信者識別 符号区分	senderIdType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1"				送信者識別符号区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (輸出物品販売場を経営する事業者、臨時販売場を設置する事業者) ・'1' (承認送信事業者)
S0301-SENO-0000	送信番号	sendNo	空チェック (入力漏れでないか)						送信番号を設定する
S0302-SENO-0000	送信番号	sendNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	17	最大長=	17		送信番号を17桁で設定する
S0304-SENO-0000	送信番号	sendNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	年日時分秒・数字チェック				送信番号を以下の形式で設定する ・1～8桁目:送信年月日 (yyyymmdd) ・9～14桁目:送信時分秒 (hhMMss) ・15～17桁目:半角数字
S0401-PRID-0000	手続ID	procedureId	空チェック (入力漏れでないか)						手続IDを設定する
S0409-PRID-0000	手続ID	procedureId	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"A"				手続IDに' A' (購入記録情報の送信)を設定する
S0501-VERS-0000	バージョン	version	空チェック (入力漏れでないか)						バージョンを設定する
S0509-VERS-0000	バージョン	version	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"2"				バージョンに' 2'を設定する
S0601-NAME-0000	氏名	name	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)						氏名を設定する
S0602-NAME-0000	氏名	name	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長=	39		氏名を39桁以内で設定する
S0604-NAME-0000	氏名	name	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z,]*"				氏名を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字) ・半角スペース
S0701-NATN-0000	国籍	nation	空チェック (入力漏れでないか)						国籍を設定する
S0702-NATN-0000	国籍	nation	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	3	最大長=	3		国籍を3桁で設定する
S0704-NATN-0000	国籍	nation	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z]*"				国籍を半角英字(大文字)のみで設定する
S0801-BIRT-0000	生年月日	birth	空チェック (入力漏れでないか)						生年月日を設定する
S0807-BIRT-0000	生年月日	birth	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd				生年月日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する
S0901-STAT-0000	在留資格	status	空チェック (入力漏れでないか)						在留資格を設定する
S0902-STAT-0000	在留資格	status	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	2	最大長=	2		在留資格を2桁で設定する
S0904-STAT-0000	在留資格	status	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[0-9]*"				在留資格を半角数字のみで設定する
S1001-LNDT-0000	上陸年月日	landDate	空チェック (入力漏れでないか)						上陸年月日を設定する
S1007-LNDT-0000	上陸年月日	landDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd				上陸年月日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する
S1101-DCTP-0000	旅券等種類	docType	空チェック (入力漏れでないか)						旅券等種類を設定する
S1109-DCTP-0000	旅券等種類	docType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"1","2","3","4","5","6"				旅券等種類に以下のいずれかを設定する ・'1' (旅券(パスポート)) ・'2' (船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合)) ・'3' (船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合)) ・'4' (乗員上陸許可書) ・'5' (緊急上陸許可書) ・'6' (遭難による上陸許可書)
S1202-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	7	最大長=	11	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	旅券番号を7桁以上、11桁以内で設定する
S1204-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[A-Z0-9]*"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	旅券番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字) ・半角数字
S1302-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=	1	最大長=	15	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	許可書番号を15桁以内で設定する
S1304-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	"[a-zA-Z0-9]*"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	許可書番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字
S1409-PRTP-0000	出国区分	portType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1","2","3","4"			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (未定) ・'1' (空港) ・'2' (港) ・'3' (その他) ・'4' (不明)
S1507-DPDT-0000	出国予定日	departDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット (厳密)=	yyyymmdd			NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定日を日付の形式 (yyyymmdd) で設定する

別紙3-2_単項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1	条件2	備考	エラー時の対応方法
S1602-PORT-0000	出国予定地	port	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=3	最大長=3	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定地を3桁で設定する
S1604-PORT-0000	出国予定地	port	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[A-Z]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定地を半角英字(大文字)のみで設定する
S1702-VHCL-0000	出国予定便	vehicle	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=7	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定便を7桁以内で設定する
S1704-VHCL-0000	出国予定便	vehicle	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[a-zA-Z0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	出国予定便を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字
S1801-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	空チェック (入力漏れでないか)				販売場識別符号を設定する
S1802-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=21	最大長=21		販売場識別符号を21桁で設定する
S1804-SHID-0000	販売場識別符号	shopId	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[0-9]*"			販売場識別符号を半角数字のみで設定する
S1901-SHTP-0000	販売場区分	shopType	空チェック (入力漏れでないか)				販売場区分を設定する
S1909-SHTP-0000	販売場区分	shopType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	0, 1, 2		販売場区分に以下のいずれかを設定する ・0 (委託なし(一般型輸出物品販売場)) ・1 (承認免税手続事業者に委託(手続委託型輸出物品販売場)) ・2 (自動販売機型輸出物品販売場)
S2009-SUON-0000	手続委託型合算区分	sumOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	0, 1	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	手続委託型合算区分に以下のいずれかを設定する ・0 (合算判定なし) ・1 (合算判定あり)
S2101-SHNM-0000	販売場名称	shopName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				販売場名称を設定する
S2102-SHNM-0000	販売場名称	shopName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=70		販売場名称を70桁以内で設定する
S2103-SHNM-0000	販売場名称	shopName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=210	文字セット=UTF-8		販売場名称を210バイト以内で設定する
S2110-SHNM-0000	販売場名称	shopName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		販売場名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S4402-MANO-0000	自動販売機指定番号	machineApprovalNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=8	最大長=8	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	自動販売機指定番号を8桁で設定する
S4404-MANO-0000	自動販売機指定番号	machineApprovalNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	自動販売機指定番号を以下の文字のみで設定する ・半角数字
S4502-MSNO-0000	自動販売機管理番号	machineSerialNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=15	最大長=15	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	自動販売機管理番号を15桁で設定する
S4504-MSNO-0000	自動販売機管理番号	machineSerialNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件="[a-zA-Z0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	自動販売機管理番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字
S2201-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				販売場所在地を設定する
S2202-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=70		販売場所在地を70桁以内で設定する
S2203-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=210	文字セット=UTF-8		販売場所在地を210バイト以内で設定する
S2210-SHPL-0000	販売場所在地	shopPlace	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		販売場所在地を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2301-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				事業者氏名名称を設定する
S2302-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		事業者氏名名称を50桁以内で設定する
S2303-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=150	文字セット=UTF-8		事業者氏名名称を150バイト以内で設定する
S2310-BZNM-0000	事業者氏名名称	bizName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		事業者氏名名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2401-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				事業者納税地を設定する
S2402-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		事業者納税地を50桁以内で設定する
S2403-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=150	文字セット=UTF-8		事業者納税地を150バイト以内で設定する
S2410-BZPL-0000	事業者納税地	bizPlace	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=	仕様公開に準ずる		事業者納税地を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S2501-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	空チェック (入力漏れでないか)				譲渡年月日を設定する
S2507-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	型チェック(日付) (所定の日付形式か)	日付フォーマット(厳密)=	yyyymmdd		譲渡年月日を日付の形式(yyyymmdd)で設定する
S2608-TIME-0000	譲渡時刻	sellTime	型チェック(日付) (所定の時刻形式か)	日付フォーマット(厳密)=	hhMM	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	譲渡時刻を時刻の形式(hhMM)で設定する
S2702-RCNO-0000	伝票番号	receiptNo	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=10	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	伝票番号を10桁以内で設定する

別紙3-2_単項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1	条件2	備考	エラー時の対応方法
S2704-RCNO-0000	伝票番号	receiptNo	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "[a-zA-Z0-9- /~@¥[-¥¥[- ¥]"*		NULL又は空以外の場合のみチェックする。 半角記号は以下を可能とする。 !#\$%&'()*+,-./:;<=>@[¥]`~{ }のいずれか	伝票番号を以下の文字のみで設定する ・半角英字(大文字、小文字) ・半角数字 ・半角記号(!#\$%&'()*+,-./:;<=>@[¥]`~{ }) ・半角スペース
S2801-TRON-0000	運送区分	transOrNot	空チェック (入力漏れでないか)				運送区分を設定する
S2809-TRON-0000	運送区分	transOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"			運送区分に以下のいずれかを設定する ・'0' (行っていない(通常の引渡し)) ・'1' (行った(販売時に海外へ直送))
S2901-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	空チェック (入力漏れでないか)				一般物品合計額を設定する
S2904-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "^[(-]?0[(-]?[1-9][0- 9]*)?\$"			一般物品合計額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S2905-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=-999999999			一般物品合計額を「-999999999」以上の整数で設定する
S2906-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=999999999			一般物品合計額を「999999999」以下の整数で設定する
S3001-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	空チェック (入力漏れでないか)				消耗品合計額を設定する
S3004-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "^[(-]?0[(-]?[1-9][0- 9]*)?\$"			消耗品合計額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S3005-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=-999999999			消耗品合計額を「-999999999」以上の整数で設定する
S3006-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=999999999			消耗品合計額を「999999999」以下の整数で設定する
S3101-LQON-0000	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	空チェック (入力漏れでないか)				酒税適用有無(全体)を設定する
S3109-LQON-0000	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="0","1"			酒税適用有無(全体)に以下のいずれかを設定する ・'0' (酒税の免税の適用なし) ・'1' (酒税の免税の適用あり)
S3202-NOTE-0000	備考	note	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=30	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	備考を30桁以内で設定する
S3203-NOTE-0000	備考	note	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=90	文字セット=UTF-8	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	備考を90バイト以内で設定する
S3210-NOTE-0000	備考	note	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	備考を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S3302-DETA-0000	物品明細	details	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		1取引につき51品目以上の免税販売がある場合には、購入記録情報を分割して作成する
S3401-SERI-00**	物品一連番号	serial	空チェック (入力漏れでないか)				物品一連番号を設定する
S3404-SERI-00**	物品一連番号	serial	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "^[([1-9][0- 9]*)\$"			物品一連番号を「1」から「50」までの範囲内の整数で設定する。(先頭0は不可)
S3405-SERI-00**	物品一連番号	serial	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=1			物品一連番号を「1」以上の整数で設定する
S3406-SERI-00**	物品一連番号	serial	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=50			物品一連番号を「50」以下の整数で設定する
S3501-GOTP-00**	物品区分	goodsType	空チェック (入力漏れでないか)				物品区分を設定する
S3509-GOTP-00**	物品区分	goodsType	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト="1","2"			物品区分に以下のいずれかを設定する ・'1' (一般物品) ・'2' (消耗品)
S3601-GONM-00**	品名	goodsName	必須チェック (入力漏れでないか、かつスペースのみでないか)				品名を設定する
S3602-GONM-00**	品名	goodsName	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=50		品名を50桁以内で設定する
S3603-GONM-00**	品名	goodsName	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=150	文字セット=UTF-8		品名を150バイト以内で設定する
S3610-GONM-00**	品名	goodsName	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準ずる			品名を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設定する
S3702-JNCD-00**	JANコード	janCode	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=13	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	JANコードを13桁以内で設定する
S3704-JNCD-00**	JANコード	janCode	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "[0-9]*"		NULL又は空以外の場合のみチェックする。	JANコードを半角数字のみで設定する
S3801-NUMB-00**	数量	number	空チェック (入力漏れでないか)				数量を設定する
S3804-NUMB-00**	数量	number	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件= "^[(-]?0[(-]?[1-9][0- 9]*)?\$"			数量を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S3805-NUMB-00**	数量	number	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=-9999			数量を「-9999」以上の整数で設定する
S3806-NUMB-00**	数量	number	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=9999			数量を「9999」以下の整数で設定する
S3902-UNIT-00**	単位	unit	文字列長(又はコレクションのサイズ) (文字列の長さが範囲内か)	最小長=1	最大長=5	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	単位を5桁以内で設定する
S3903-UNIT-00**	単位	unit	バイト数チェック(最大値) (バイト数の最大値を超えていないか)	バイト長の最大値=15	文字セット=UTF-8	NULL又は空以外の場合のみチェックする。	単位を15バイト以内で設定する

別紙3-2_単項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの各項目について、条件1欄及び条件2欄を基にチェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	チェックルール	条件1	条件2	備考	エラー時の対応方法
S3910-UNIT-00**	単位	unit	文字コードチェック (使用できない文字がないか)	文字コード集=仕様公開に準 ずる		NULL又は空以外の場合 のみチェックする。	単位を免税販売管理システムで使用可能な文字 のみで設定する
S4004-UNPR-00**	単価	unitPrice	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""^([-]?0[[-]?[1-9][0- 9]*)?\$	NULL又は空以外の場合 のみチェックする。	単価を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S4005-UNPR-00**	単価	unitPrice	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-999999999	NULL又は空以外の場合 のみチェックする。	単価を「-999999999」以上の整数で設定する
S4006-UNPR-00**	単価	unitPrice	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	999999999	NULL又は空以外の場合 のみチェックする。	単価を「999999999」以下の整数で設定する
S4101-SLPR-00**	販売価額	price	空チェック (入力漏れでないか)				販売価額を設定する
S4104-SLPR-00**	販売価額	price	正規表現 (データ型が合っているか)	正規表現条件=	""^([-]?0[[-]?[1-9][0- 9]*)?\$		販売価額を以下の形式で設定する ・1桁目:「-」(半角マイナス)又は半角数字 ・2桁目以降:半角数字
S4105-SLPR-00**	販売価額	price	範囲(min) (数値が小さすぎないか)	最小値=	-999999999		販売価額を「-999999999」以上の整数で設定する
S4106-SLPR-00**	販売価額	price	範囲(max) (数値が大きすぎないか)	最大値=	999999999		販売価額を「999999999」以下の整数で設定する
S4201-REDU-00**	消費税軽減 税率対象区 分	reduced	空チェック (入力漏れでないか)				消費税軽減税率対象区分を設定する
S4209-REDU-00**	消費税軽減 税率対象区 分	reduced	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1"		消費税軽減税率対象区分に以下のいずれかを設 定する ・'0' (軽減税率対象外) ・'1' (軽減税率対象)
S4301-LQIN-00**	酒税適用有 無(物品)	lgIndividual	空チェック (入力漏れでないか)				酒税適用有無(物品)を設定する
S4309-LQIN-00**	酒税適用有 無(物品)	lgIndividual	コードリストチェック (所定のコード値から選択しているか)	コード値リスト=	"0","1"		酒税適用有無(物品)に以下のいずれかを設定す る ・'0' (酒税の免税の適用なし) ・'1' (酒税の免税の適用あり)

(上記の**には、01～50が設定される)

別紙4-2_関連項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの複数項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	エラー時の対応方法
R0010-PPNO-0000	旅券番号	passportNo	PPNO	旅券等種類=1又は2の場合 ・旅券番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①旅券番号を設定する ②旅券等種類に次のいずれかを設定する ・'3'(船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付及び裏面印刷がない場合)) ・'4'(乗員上陸許可書) ・'5'(緊急上陸許可書) ・'6'(遭難による上陸許可書)
	旅券等種類	docType	DCTP		
R0020-LPNO-0000	許可書番号	landingPermitNo	LPNO	旅券等種類=3、4、5又は6の場合 ・許可書番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①許可書番号を設定する ②旅券等種類に次のいずれかを設定する ・'1'(旅券(パスポート)) ・'2'(船舶観光上陸許可書(旅券(パスポート)の写しの添付又は裏面印刷がある場合))
	旅券等種類	docType	DCTP		
R0030-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象販売合計額を設定する ②酒税適用有無(全体)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0031-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は「-999999999」～「999999999」の範囲内の整数であること。	酒税免税対象販売合計額を「-999999999」～「999999999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0032-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象販売合計額は、物品情報の酒税適用有無(物品)=1である繰り返し分の販売価額を合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税免税対象販売合計額を確認する ②酒税適用有無(物品)を確認する ③酒税適用有無(物品)が'1'(酒税の免税の適用あり)である繰り返し分の販売価額を確認する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
	販売価額	price	SLPR		
R0033-LQTT-0000	酒税免税対象販売合計額	lqTotal	LQTT	酒税適用有無(全体)=0の場合 ・酒税免税対象販売合計額が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象販売合計額の入力値を削除する ②酒税適用有無(全体)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0040-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象酒類総本数を設定する ②酒税適用有無(全体)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0041-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は「-999999」～「999999」の範囲内の整数であること。	酒税免税対象酒類総本数を「-999999」～「999999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0042-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=1の場合 ・酒税免税対象酒類総本数は、酒税適用有無(物品)=1である繰り返し分の(酒税)本数を合計した本数と同じであること。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税免税対象酒類総本数を確認する ②酒税適用有無(物品)を確認する ③酒税適用有無(物品)が'1'(酒税の免税の適用あり)である繰り返し分の(酒税)本数を確認する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
	(酒税)本数	lqNumber	LQNU		
R0043-LQTN-0000	酒税免税対象酒類総本数	lqTotalNum	LQTN	酒税適用有無(全体)=0の場合 ・酒税免税対象酒類総本数が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①酒税免税対象酒類総本数の入力値を削除する ②酒税適用有無(全体)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(全体)	lqExemptOrNot	LQON		
R0050-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)品目分類は、空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)品目分類を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0051-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)品目分類は3桁の整数であること	(酒税)品目分類を3桁の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0052-LQCD-00**	(酒税)品目分類	lqCode	LQCD	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)品目分類が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)品目分類の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0060-LQAL-00**	(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)アルコール分は2桁以内の整数又は未入力であること。	以下のいずれかを行う ①(酒税)アルコール分を2桁以内の整数で設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する ③(酒税)アルコール分の入力値を削除する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0061-LQAL-00**	(酒税)アルコール分	lqAlcohol	LQAL	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)アルコール分が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)アルコール分の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0070-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)税率は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)税率を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		
R0071-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)税率は7桁以内の整数であること。	(酒税)税率を7桁以内の整数で設定する
	酒税適用有無(物品)	lqIndividual	LQIN		

別紙4-2_相関項目チェックエラーコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの複数項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たさない場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、エラーコード欄のコードを設定して返却します。

エラーコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	エラー時の対応方法
R0072-LQTR-00**	(酒税)税率	lqTaxRate	LQTR	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)税率が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)税率の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0080-LQCP-00**	(酒税)容器容 量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)容器容量は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)容器容量を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0081-LQCP-00**	(酒税)容器容 量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)容器容量は7桁以内の整数であること。	(酒税)容器容量を7桁以内の整数で設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0082-LQCP-00**	(酒税)容器容 量	lqCapacity	LQCP	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)容器容量が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)容器容量の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0090-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)本数は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①(酒税)本数を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0091-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=1の場合 ・(酒税)本数は「-9999」～「9999」の範囲内の整数であること。	(酒税)本数を「-9999」～「9999」の範囲内の整数で設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0092-LQNU-00**	(酒税)本数	lqNumber	LQNU	酒税適用有無(物品)=0の場合 ・(酒税)本数が入力されていない(NULL又は空文字である)こと。	以下のいずれかを行う ①(酒税)本数の入力値を削除する ②酒税適用有無(物品)に'1'(酒税の免税の適用あり)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0100-TRNM-0000	運送事業者氏 名名称	transName	TRNM	運送区分=1の場合 ・運送事業者氏名名称が空白でないこと。 ・運送事業者氏名名称が30文字以内で設定されていること。 ・運送事業者氏名名称が90バイト以内で設定されていること。	以下のいずれかを行う ①運送事業者氏名名称に30文字以内かつ90バイト以内の名称を設定する ②運送区分に'0'(行っていない(通常の引渡し))を設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0101-TRNM-0000	運送事業者氏 名名称	transName	TRNM	運送区分=1の場合 ・運送事業者氏名名称は免税販売管理システムで使用可能な文字のみで 入力されていること。	運送事業者氏名名称を免税販売管理システムで使用可能な文字のみで設 定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0102-TRNM-0000	運送事業者氏 名名称	transName	TRNM	運送区分=0の場合 ・運送事業者氏名名称が空白であること	以下のいずれかを行う ①運送事業者氏名名称を削除する ②運送区分に'1'(行った(販売時に海外へ直送))を設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0110-GENE-0000	一般物品合計 額	generalTotal	GENE	一般物品合計額は、物品情報の物品区分=1である繰返し分の販売価額 を合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①一般物品合計額を確認する ②物品区分を確認する ③物品区分が'1'(一般物品)である繰返し分の販売価額を確認する
	物品区分	goodsType	GOTP		
	販売価額	price	SLPR		
R0120-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	消耗品合計額は、物品情報の物品区分=2である繰返し分の販売価額を 合計した金額の±100以内の値であること。	以下の内容が正しいか確認する ①消耗品合計額を確認する ②物品区分を確認する ③物品区分が'2'(消耗品)である繰返し分の販売価額を確認する
	物品区分	goodsType	GOTP		
	販売価額	price	SLPR		
R0130-LQON-0000	酒税適用有無 (全体)	lqExemptOrNot	LQON	物品情報に酒税適用有無(物品)=1を含む場合、酒税適用有無(全体)=1で ある。	以下の内容が正しいか確認する ①酒税適用有無(物品)を確認する ②酒税適用有無(全体)を確認する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		
R0140-SERI-00**	物品一連番号	serial	SERI	データを上から読み取った場合、物品一連番号が繰返し1回ごとに1が加 算されている(連番になっている)こと。	物品一連番号が1から連番になるように設定する
R0150-SHTP-0000	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=0又は1の場合 ・自動販売機指定番号が入力されていない(NULL又は空文字である)こ と。	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'2'(自動販売機型輸出物品販売場)を設定する ②自動販売機指定番号の入力値を削除する
	自動販売機指 定番号	machineAppr ovalNo	MANO		
R0151-SHTP-0000	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=2の場合 ・自動販売機指定番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'0'(一般型輸出物品販売場(委託なし))又は'1'(手続委 託型輸出物品販売場(承認免税手続事業者に委託))を設定する ②自動販売機指定番号を8桁で設定する
	自動販売機指 定番号	machineAppr ovalNo	MANO		
R0152-SHTP-0000	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=0又は1の場合 ・自動販売機管理番号が入力されていない(NULL又は空文字である)こ と。	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'2'(自動販売機型輸出物品販売場)を設定する ②自動販売機管理番号の入力値を削除する
	自動販売機管 理番号	machineSeria lNo	MSNO		
R0153-SHTP-0000	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=2の場合 ・自動販売機管理番号は空白でないこと	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'0'(一般型輸出物品販売場(委託なし))又は'1'(手続委 託型輸出物品販売場(承認免税手続事業者に委託))を設定する ②自動販売機管理番号を15桁以内で設定する
	自動販売機管 理番号	machineSeria lNo	MSNO		
R0154-SHTP-0000	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=2の場合 ・運送区分=0であること	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'0'(一般型輸出物品販売場(委託なし))又は'1'(手続委 託型輸出物品販売場(承認免税手続事業者に委託))を設定する ②運送区分に'0'(行っていない(通常の引渡し))を設定する
	運送区分	transOrNot	TRON		
R0155-SHTP-00**	販売場区分	shopType	SHTP	販売場区分=2の場合 酒税適用有無(物品)の値がすべて0であること。	以下のいずれかを行う ①販売場区分に'0'(一般型輸出物品販売場(委託なし))又は'1'(手続委 託型輸出物品販売場(承認免税手続事業者に委託))を設定する ②酒税適用有無(物品)に'0'(酒税の免税の適用なし)を設定する
	酒税適用有無 (物品)	lqIndividual	LQIN		

(上記の**には、01～50が設定される)

別紙5-2_ワーニングコード(ver2)

購入記録情報インターフェースの項目について、チェックルール欄のチェックを行い、条件を満たす場合、受信結果通知インターフェースの「処理結果コード」に、ワーニングコード欄のコードを設定して返却します。(この場合、購入記録情報の受付はされているため、訂正がなければワーニングへの対応は不要です。)

ワーニングコード	項目名	項目ID	項目ID 略称	チェックルール	ワーニング時の対応方法
W0001-SLDT-0000	譲渡年月日	sellDate	SLDT	譲渡年月日 ≥ (上陸年月日 + 184日)の場合ワーニング	上陸年月日、譲渡年月日の設定に誤りがないか確認する
W0002-GENE-0000	一般物品合計額	generalTotal	GENE	1円 ≤ 一般物品合計額 ≤ 4999円 の場合ワーニング	一般物品合計額の設定に誤りがないか確認する
W0003-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	1円 ≤ 消耗品合計額 ≤ 4999円の場合ワーニング	消耗品合計額の設定に誤りがないか確認する
W0004-CONS-0000	消耗品合計額	consumTotal	CONS	消耗品合計額 ≥ 500001円の場合ワーニング	消耗品合計額の設定に誤りがないか確認する

(留意点)
いずれの場合も、正常に受信されていますが、免税販売の要件を満たしているかの観点から、送信内容の確認を行う必要があります。

別紙6-2_HTTPステータスコード(ver2)

購入記録情報の送信が正常に終了したか否かについては、HTTPステータスコードで判定することができます。「201」以外が返却された場合、再送信が必要になりますが、「470」以外については様々な要因が考えられます。対応の参考となるよう、主なHTTPステータスコード及び代表的な対応方法を、以下に示します。

状態	ステータスコード	受信結果通知の有無(※)	エラー時の対応方法
正常終了	201	有	—
異常終了 (業務エラー)	470	有	本システム内の業務チェックによりエラーとして返却されるコード。 「処理結果コード」に設定されたエラーコードを確認し、必要な修正を行った上で再度送信する。
異常終了 (システムエラー等)	403	無	RFC7231等で定義されているコード。以下同じ。 HTTPメソッドの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、HTTPメソッドを「POST」に修正した上で再度送信する。
	404	無	リクエストURLの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、本仕様書で定めている「リクエストURL」に修正した上で再度送信する。
	405	無	HTTPメソッドの誤りによりエラーとなっている可能性があるため、HTTPメソッドを「POST」に修正した上で再度送信する。
	415	無	データ形式に誤りがある可能性があるため、以下の内容を確認し、必要な修正を行った上で再度送信する。 ・Content-Typeの設定値が、本仕様書で定めている「Content-Type」となっていること ・Jsonのデータ形式が正しいこと(数字以外の設定値について「”」で囲っていること、設定値に半角記号「'」が含まれていないこと等)
	501	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、必要に応じて、DNSに再問い合わせ(IPアドレスの問合せ)を行った上で再度送信する。
	503	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、間隔を空けてから、再度送信する。
	504	無	本システムで障害が発生している可能性があるため、間隔を空けてから、再度送信する。

※HTTPボディ(購入記録情報受信結果通知インターフェースに定義された情報)の有無